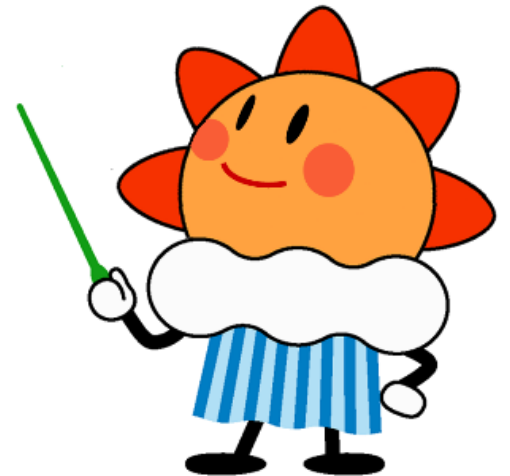


令和7年12月12日 運輸防災セミナー（雪害対策）

大雪に関する防災気象情報について

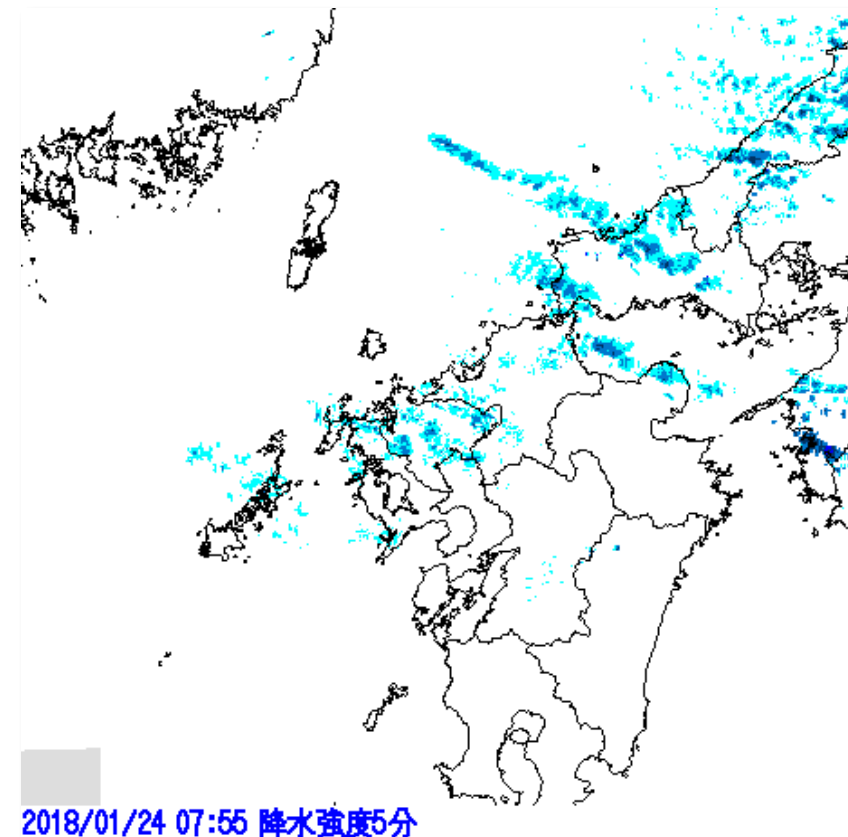
福岡管区気象台 気象防災部 地域防災推進課
リスクコミュニケーション推進官 後藤 浩文

- 大雪事例
- 今年の冬の予想
- 雪に関する防災情報について
- 新しい防災情報について（R8出水期より）



- ① 西高東低の冬型気圧配置による大雪
～九州西海上から流れ込む雪雲～
- ② 日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）による大雪
～日本海西部から南下する雪雲～
- ③ 南岸低気圧の通過による大雪

大雪パターン：西高東低の冬型気圧配置



- 冬季の代表的な気圧配置
- 海上で発生した筋状の雪雲が流入
- 雪が降る場所が局地的となるため、ピンポイントでの降雪予想が難しい
- 日本海側を中心に降雪
- 上空の寒気の程度、風向きによって降る場所が変わる
- 上空の風が北西の場合は、九州は朝鮮半島の陰になり雪雲が流入しにくい

2018年（H30）1月24日の事例

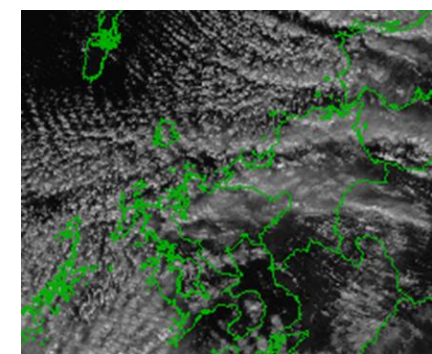
- 九州北部上空(約1500m)に-12度以下の寒気流入
- 雪雲が関門海峡を抜け、国東半島を中心にまとまった雪となった

2021年（R3）1月7～9日の事例

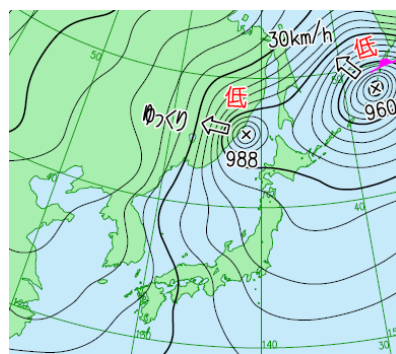
- 九州北部上空(約1500m)に-12度以下の寒気流入
- 長崎市で積雪15cm、飯塚市で24cm

2023年（R5）1月24～25日の事例

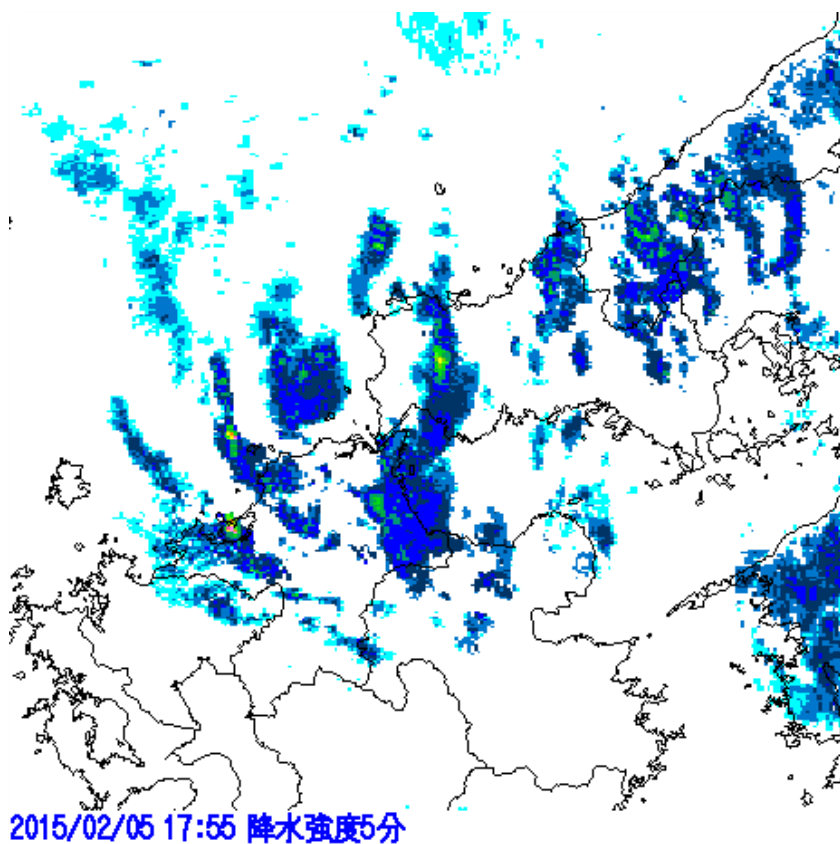
- 九州北部上空(約1500m)に-15度以下の寒気流入
- 山口市で13cm、長崎市で5cm、鹿児島市で4cm、佐賀市で3cm、国東市で18cmの積雪を観測



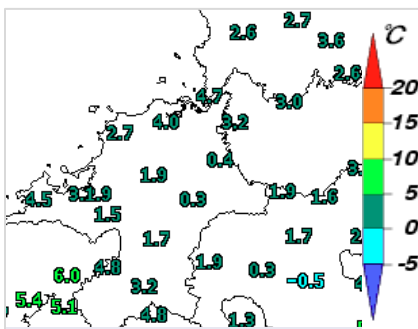
2021/1/8 12時の衛星



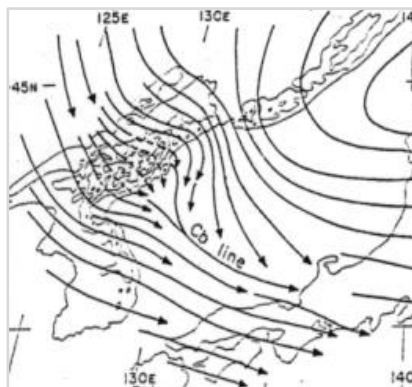
2018/1/24 9時の天気図



2015/02/05 17:55 降水強度5分



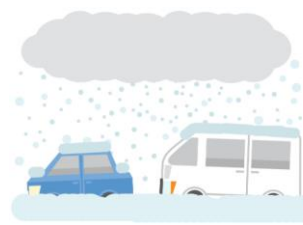
2/5 18時の気温



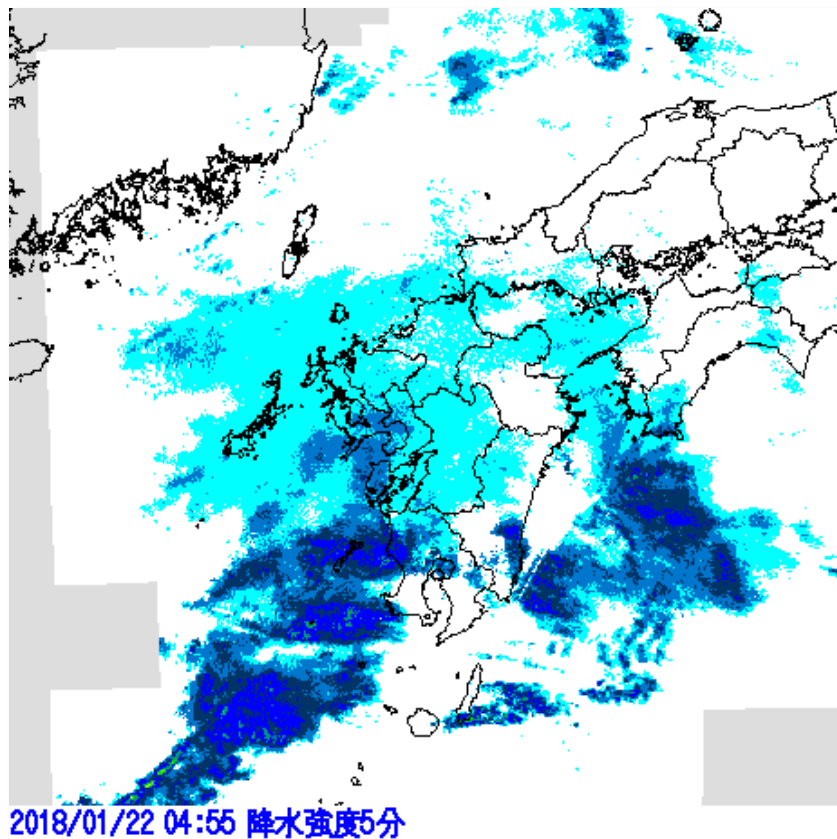
- 冬型気圧配置
- 朝鮮半島北部の山岳を迂回した風が風下で合流収束し、雲が発達
- （北から雪雲が流入してくるため）玄界灘沿岸部や周防灘沿岸部、峠などで振りやすい

2015年（H27）2月5日の事例

- 5日夕方、日本海から雨雲（雪雲）が流入、気温低下とともに雨から雪へ
- 大分県九重町野上の国道210号でスリップした大型トラックが道路をふさぎ、約100台が立ち往生



大雪パターン：南岸低気圧



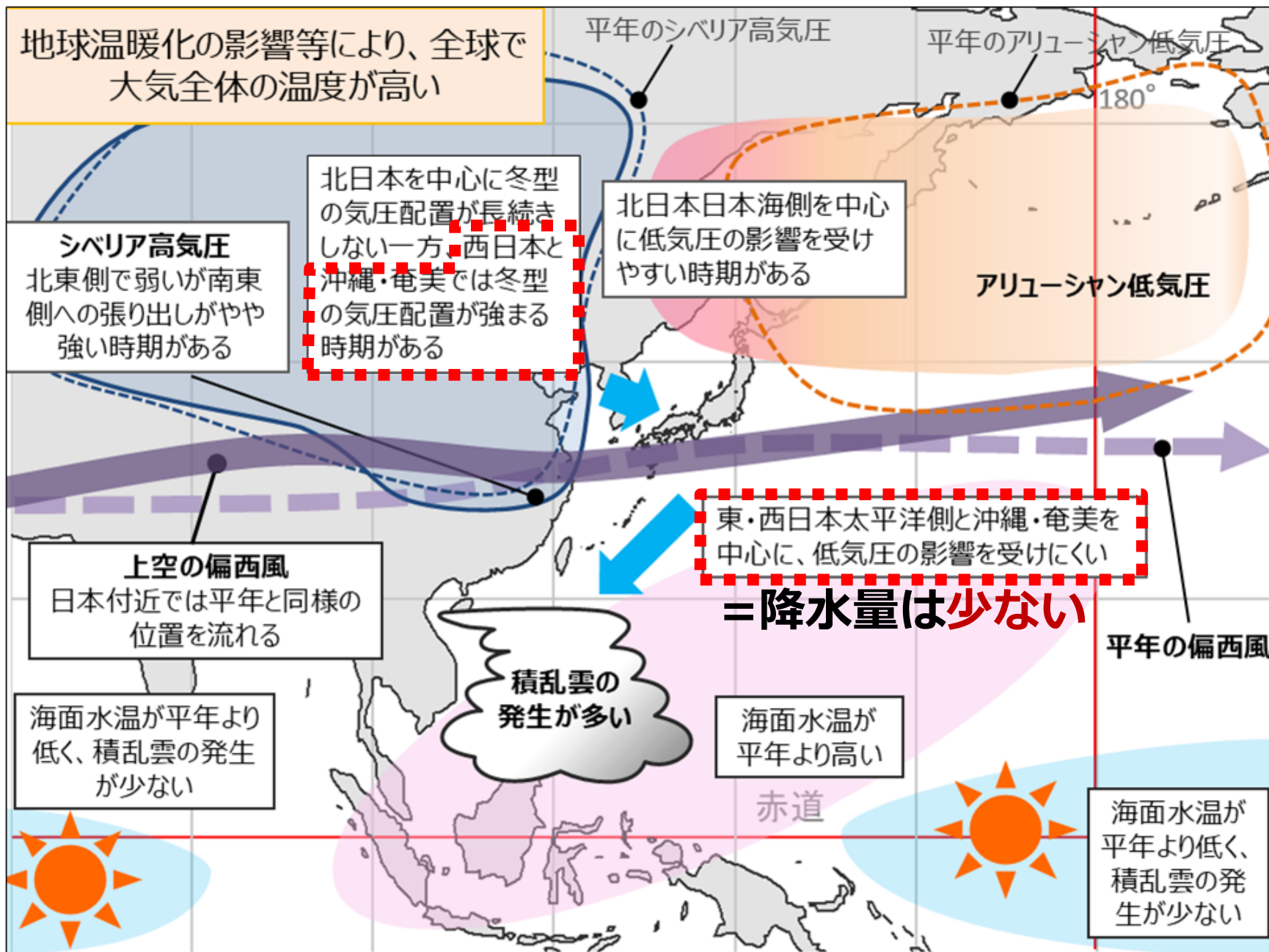
- 低気圧が九州南岸などを通過
- （通常は降らない）太平洋側でも雪が降るパターン
- 広い範囲で雪（雨）が降りやすく、標高の高い所は雪、低い所では雨
- 低気圧の北側を中心に雪となる



2018年（H30）1月22日の事例

- 22日午前中、九州の南海上を低気圧が通過
- 気温の低い山地では雪となったが、平地では雨、夜は関東で気温が低下し大雪

冬（12～2月）の海洋と大気の特徴



九州北部地方の3か月予報（12～2月）

向こう3か月の予報ポイント

気温：ほぼ平年並
降水量：低気圧の影響を受けにくいいため少ない

	気温 低 並 高 (%)	降水量 少 並 多 (%)
12 ～ 2月	ほぼ平年並 30：40：30	少ない 50：30：20

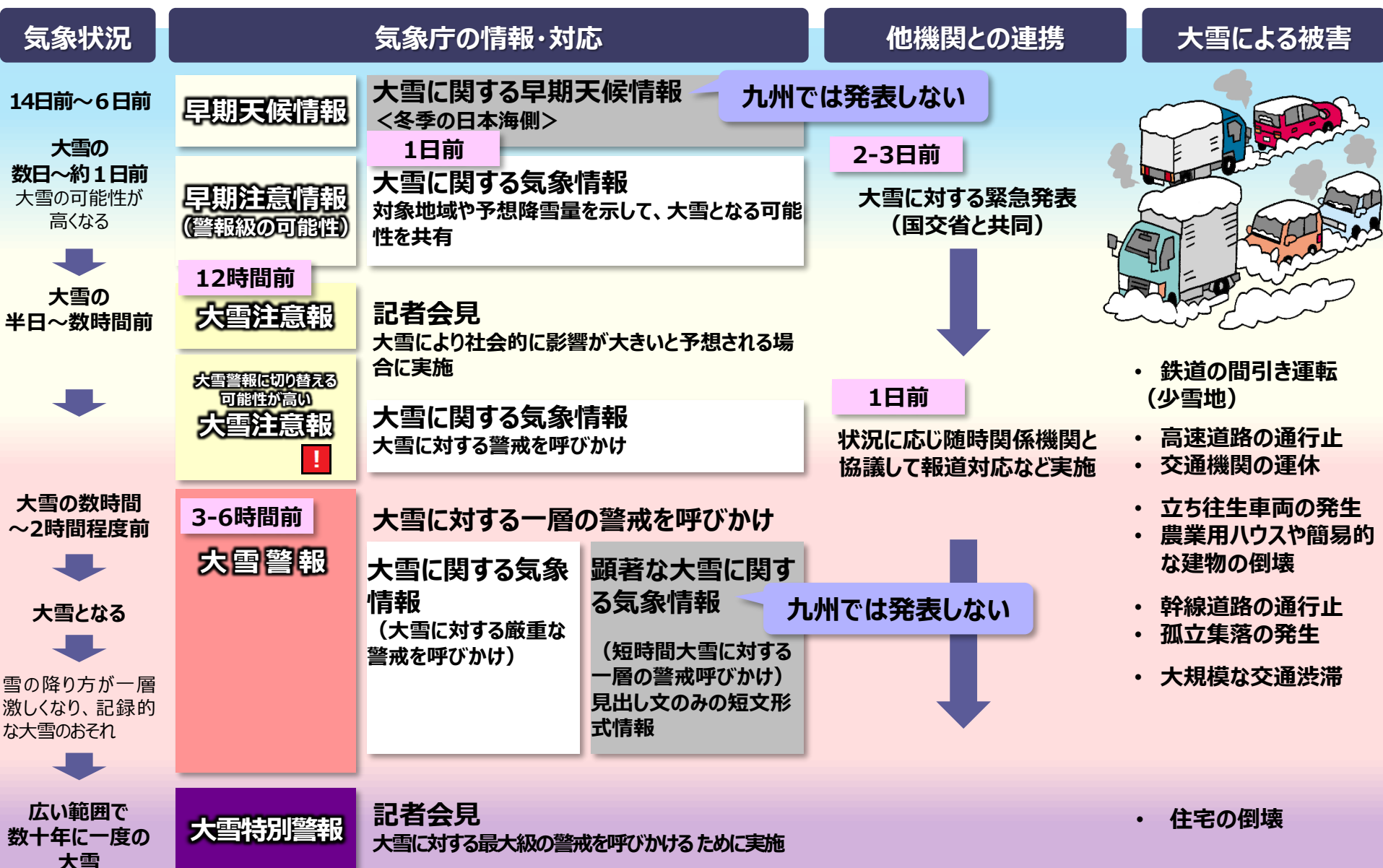
【留意事項】

- 降水量は少ないため、火の取り扱いに注意
（平年でも降水量が少なく乾燥する時期。強風時は特に注意）
- 冬型の気圧配置が強まり、
寒気が流れ込みやすい時期がある見込み
- 一時的に強い寒気が入って雪となる可能性もある
→最新の予報・気象情報等に留意！



気象台が発表する防災気象情報

➤ 大雪のおそれに応じて段階的に発表



早期注意情報（警報級の可能性）

➤ 5日先までの警報級の現象の可能性を【高】、【中】の2段階で発表

福岡県の早期注意情報(警報級の可能性)											
20XX年XX月18日17時00分 福岡管区気象台 発表											
福岡県福岡地方			18日	19日				20日	21日	22日	23日
			18-24	00-06	06-12	06-12	12-24				
大雨	警報級の可能性		-		-			-	-	-	-
	1時間最大		15以下	15以下	15以下	15以下	15以下				
	3時間最大		25以下	25以下	25以下	25以下	25以下				
	24時間最大			50以下							
大雪	警報級の可能性		[高]		[高]			[中]	[中]	-	-
	6時間最大		5 山沿いでは 10	7 山沿いでは 15	3 山沿いでは 10	1 山沿いでは 7	1 山沿いでは 3				
	24時間最大			20から30							
暴風 (雪)	警報級の可能性		-	-	-			-	-	-	-
	最大風速	陸上	9以下	10	13	13	10				
		海上	9以下	10	13	13	10				

暴風雪と大雪に関する福岡県気象情報 第3号
令和5年1月22日16時57分 福岡管区気象台発表

注意・警戒が必要な期間

(見出し)

福岡県では、24日は雪を伴った暴風に警戒し、24日から25日にかけて大雪や高波に注意・警戒してください。

(本文)

24日は低気圧が発達しながら千島近海と日本の東を北東に進み、24日から25日にかけて冬型の気圧配置が強まる見込みです。九州北部地方では、24日から25日にかけて、上空約1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。

このため、福岡県では、24日は海上を中心に西または北西の風が非常に強く吹き、24日から25日にかけて大しけとなるおそれがあります。。

また、福岡県では24日から25日にかけて、警報級の大雪となるおそれがあります。

「積雪」ではなく「降雪」を予想！

<雪の予想>

23日18時から24日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山地 10から20センチ

平地 5から10センチ

その後も降雪量は増える見込みです。

<防災事項>

雪を伴った暴風に警戒してください。

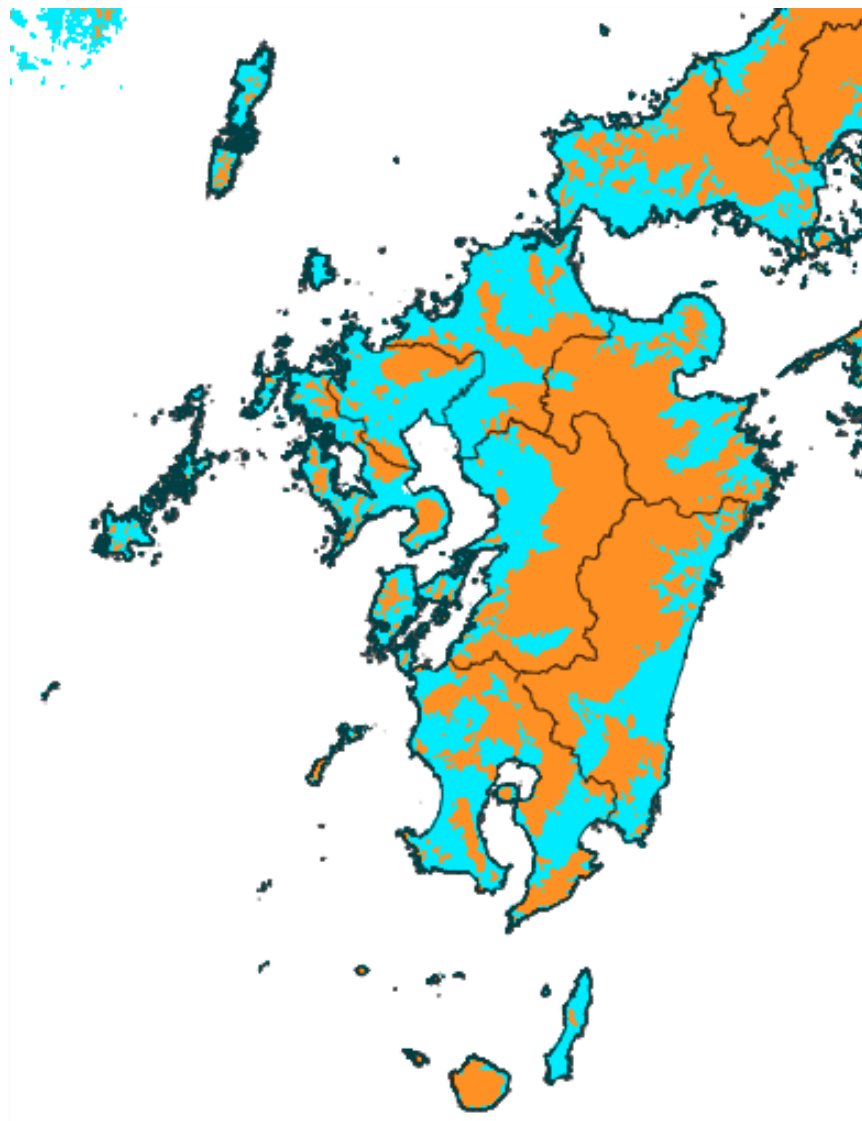
降雪や路面凍結による交通障害、農業施設の管理、高波などに注意・警戒してください。低温による水道管の凍結に注意してください。

今後発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

大雪注意報、大雪警報の発表基準

➤ 大雪注意報・警報の基準は降雪量（cm/12時間）

	大雪警報		大雪注意報	
	山地	平地	山地	平地
山口県	30	10	15	5
福岡県	20	10	5	3
佐賀県	20	10	5	3
長崎県	20	10	5	3
熊本県	20	10	5	3
大分県	20	10	5	3
宮崎県	20	10	5	3
鹿児島県	15	10	5	3



※山地は標高200m以上の地域（地図の橙色領域）

大雪警報・注意報と関連する注意報等

- 重大な災害が発生する警報級の現象が**おおむね3～6時間先に予想されるときに発表**
- 警報に切り替える可能性が高い注意報を発表することもある

令和5年 1月24日20時58分 福岡管区気象台発表

福岡県の注意警戒事項

福岡、北九州地方の海上では、24日夜遅くまで暴風雪に警戒してください。福岡県では、25日明け方まで大雪に警戒してください。

福岡市 **[発表]大雪警報**
[継続]暴風雪警報 雷、波浪、低温、着雪注意報

福岡市			今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・ 関連する現象	
発表中の 警報・注意報等の種別			24日					25日						
			18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21			
暴風雪	風向風速 (矢印・メートル)	陸上					10							
			*	*	*	*							*は雪を伴う	
		玄界灘												
			*	*	*	*							*は雪を伴う	
		沖ノ島周辺												
			*	*	*	*								*は雪を伴う
大雪	山地													12時間最大降雪量20センチ 降雪による交通障害
	平地													12時間最大降雪量10センチ 降雪による交通障害

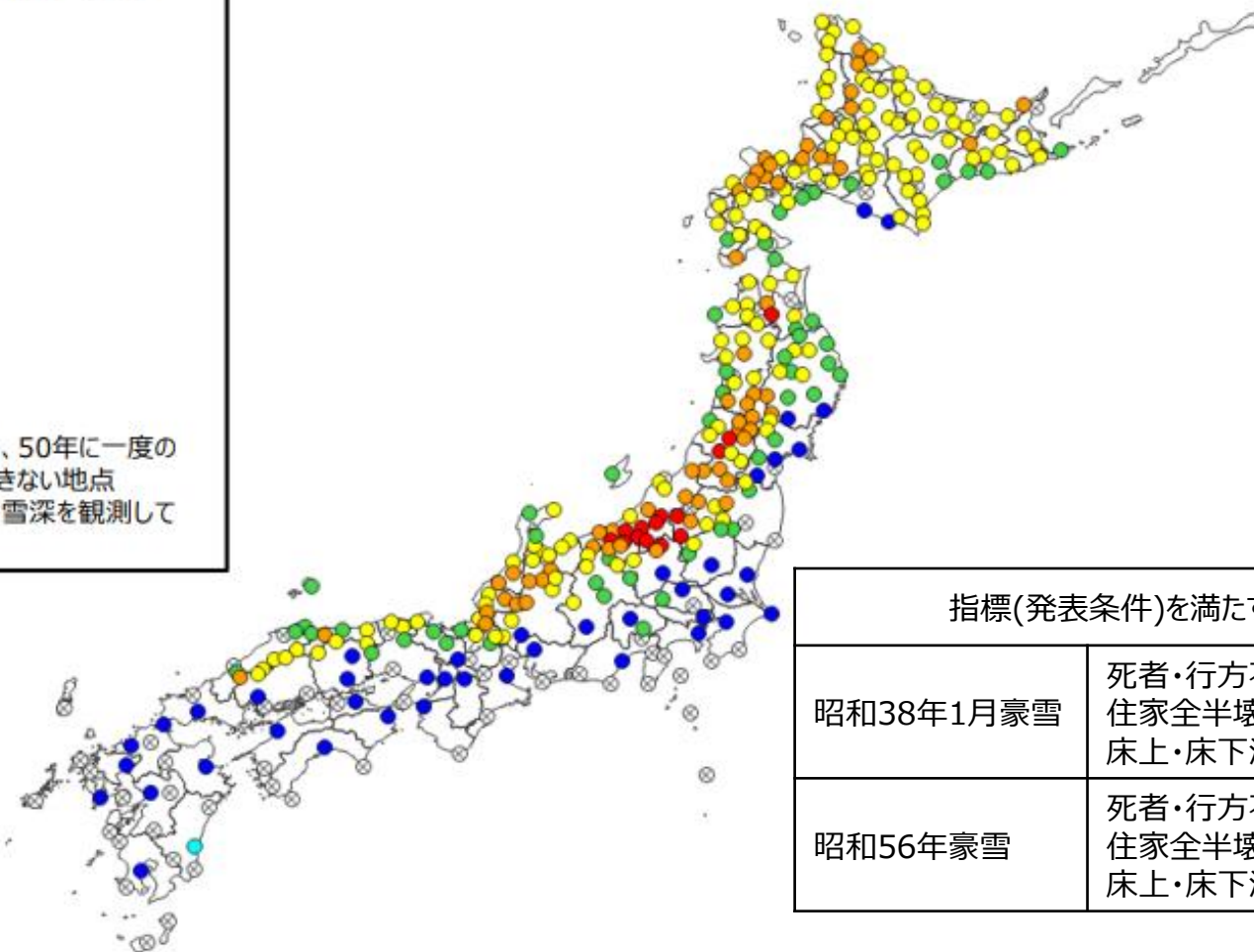
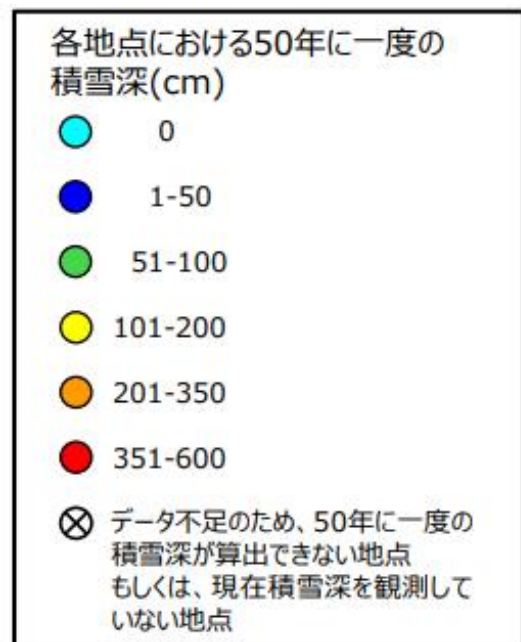
風雪注意報（暴風雪警報） 雪を伴い、平均風速が

注意報：10～12m/s、**警報：20m/s**

着雪注意報 大雪警報・注意報の条件下で、気温が-2℃～2℃、湿度が90%以上

低温注意報（冬期） 最低気温が沿岸部-3～5℃以下または内陸部-7～8℃以下

- 記録的な大雪（府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深）となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表



指標(発表条件)を満たす主な事例	
昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者231人 住家全半壊1,735棟 床上・床下浸水6,978棟
昭和56年豪雪	死者・行方不明者152人 住家全半壊466棟 床上・床下浸水8,097棟

大雪に対する緊急発表（九州版）

- 普段降雪が少ない地域において、まとまった降雪により、大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こすおそれのある大雪が予想される場合に発表
(国土交通省と気象庁が共同して記者会見)
- 九州地方整備局と九州運輸局、気象台、高速道路事業者等と共同して記者会見や記者発表を行い警戒を呼びかけ

令和5年1月23日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

～不要不急の外出は控えください～

○九州では1月24日から25日にかけて、この冬一番の寒気が流れ込み、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。【別紙-1】

○九州の広い範囲において、**高速道路や主要幹線道路の通行止め**が発生する場合があります。積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道が**同時に通行止め**となる場合があります。

○道路利用者の皆様へお願いします。

- ・**不要不急の外出は避けてください。**
- ・お出かけの予定の変更や運送日の調整等をお願いします。
- ・昨年12月のクリスマス寒波では、冬用タイヤ未装着による大きな走行速度低下がありました。大雪の場合に、やむを得ず車でお出かけされる場合は、**冬用タイヤやチェーンを必ず装着**してください。
- ・最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
- ・今回は、**立ち往生等が発生するような大雪**が見込まれているため、十分に警戒してください。

「大雪に関する緊急発表」 令和5年1月23日

別紙-1

【道路利用者等への呼びかけ】

- 九州では、1月24日から25日にかけて、この冬一番の強い寒気が流れ込み、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。
- 平地で10cm以上の降雪となり、立ち往生等が発生する危険性の高い大雪が見込まれているため、十分に警戒してください。
- 路面の凍結、集落の孤立、着雪による停電や倒木にも注意が必要です。
- 九州においても、平成28年1月23日からの大雪により、福岡県、佐賀県の国道3号や国道34等において、大規模な渋滞が発生しました。
- ドライバーの方々には、**不要不急の外出は避けてください。**やむを得ず運転する場合は、冬用タイヤやチェーンの装着してください。冬用タイヤでも走行できない恐れがありますので、**タイヤチェーンを必ず携行・装着**してください。
- お出かけ前には最新の気象情報及び道路交通情報を確認してください。

【1. 今後の気象の見通し】

大雪の予想

◆1月24日から25日にかけて、九州北部地方の上空およそ1500メートルに氷点下15度以下のこの冬一番の強い寒気が流れ込む見込みです。このため、九州では24日夕方から25日にかけて、**山地平地ともに警報級の大雪となるおそれ**があります。

大雪の早期注意情報（警報級の可能性）

日	23日	24日	25日
時	12～18	18～06	06～24
九州北部地方※	—	—	高
九州南部	—	—	高

24時間降雪量の予想(多い所) 単位:センチ

	24日6時～25日6時
九州北部地方※	平地:10～20、山地:20～40
九州南部	平地:5～10、山地:10～20

※九州北部地方は山口県を除く

- ◆気象庁HP「今後の雪」
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>
- ◆最新の気象情報をご利用ください。

【2. 過去の大雪による道路交通障害】

平成28年1月23日から1月26日にかけての大雪

- 九州全域で高速道路や主要線道路において、通行止めや交通渋滞等の交通障害が発生。
- 九州縦貫自動車道が長時間の通行止めとなり、周辺の国道3号や国道34号等において、**大規模な渋滞**が発生。

【参考】

国道3号(太宰府IC～広川IC間、延長約35km)の所要時間
通常時…約1時間
大雪時…約6時間
※大雪時:平成28年1月の大雪時



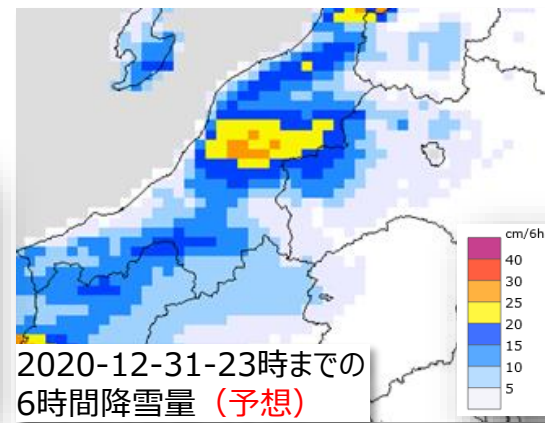
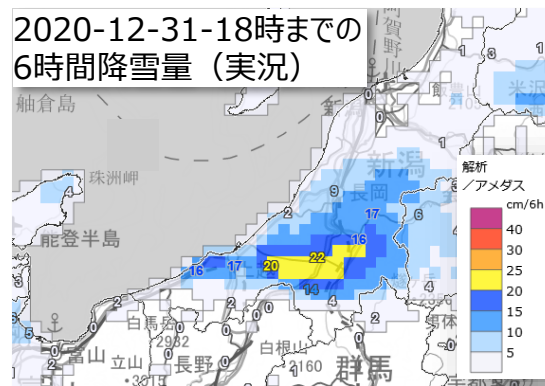
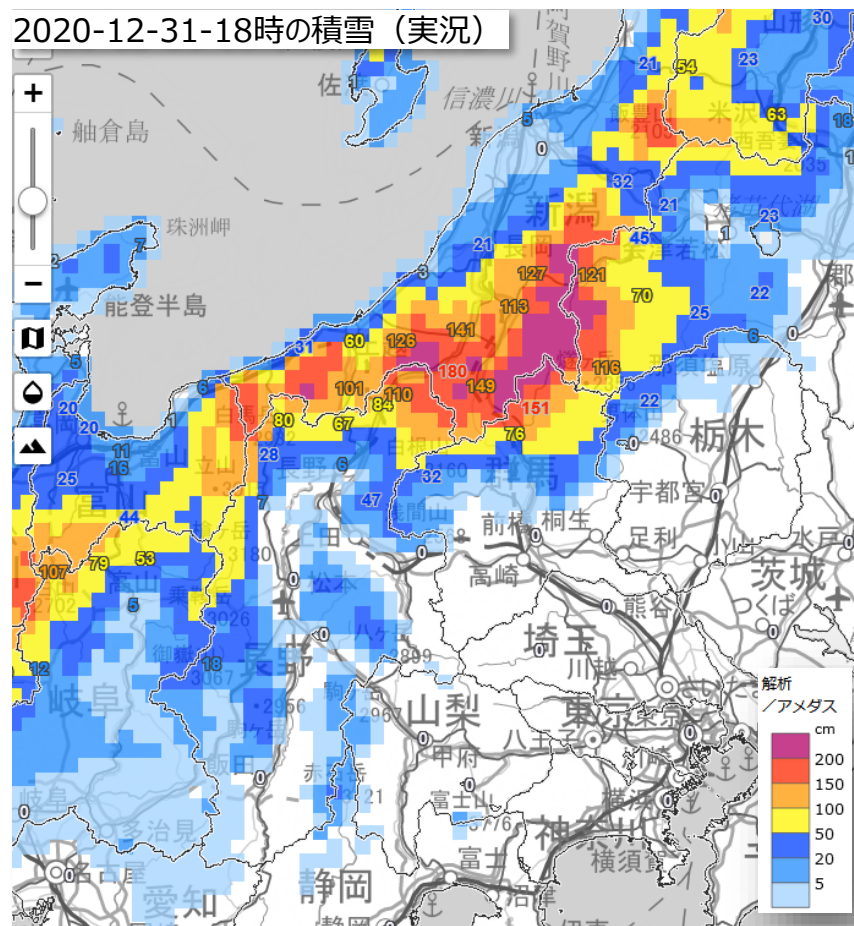
▲立ち往生車両の発生状況（鳥栖市）



▲国道3号の渋滞状況
(福岡県筑紫野市上空)

今後の雪（降雪短時間予報）

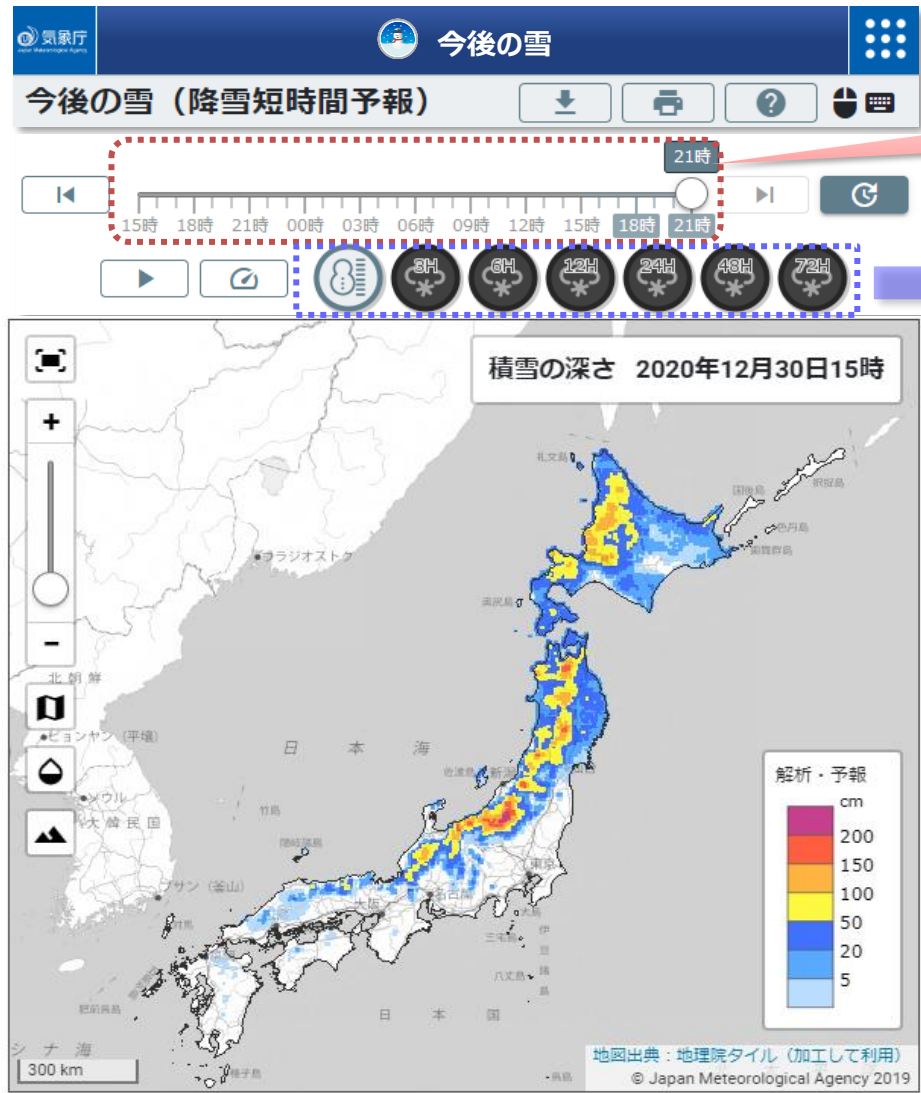
- 雪による交通への影響等を前もって判断いただくための情報
- 6時間先までの積雪の深さ・降雪量の予想分布の傾向を把握するための資料
(1cm単位での活用はいただくことを想定していません)



今夜はまだ降りそうだ・・・
通行止めになると困るし、
車はやめておこう。
帰るのは来週にしよう。



気象庁ホームページ「今後の雪」



過去24時間から6時間先までを確認可能



防災気象情報の取得

① 気象庁ホームページ



気象庁ホーム > 防災情報

防災情報

☑ 気象防災

➤ 気象警報・注意報

➤ 大雨危険度

➤ キキクル (危険度分布)
土砂 / 浸水 / 洪水

➤ 雨雲の動き (軽便版)

➤ 今後の雨 (軽便版)

➤ 気象情報

➤ 台風情報

➤ 指定河川洪水予報

➤ 土砂災害警戒情報

➤ 竜巻注意情報

➤ 熱中症警戒アラート

➤ 今後の雪

気象庁HPはスマートフォンにも対応！
ホーム画面に登録して活用してください！

新しい防災気象情報

(R8出水期から運用開始予定)

- ✓ 5段階の警戒レベルにあわせて発表
- ✓ レベル4相当の情報として**危険警報**を新設
- ✓ 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表(例：レベル4高潮危険警報)
- ✓ 情報と防災行動との関係が明確に（レベルの数字でとるべき行動が分かる！）

警戒 レベル	住民がとるべき行動	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫 遠賀川 御笠川 筑後川 矢部川等	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打ち上げによる浸水
5	命の危険 直ちに安全確保！	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報

----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----

4	危険な場所から全員避難	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	避難に時間を要する人は早 めに避難、避難の準備など	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	避難行動を確認 避難場所や避難ルート、避難のタ イミングなど	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	災害への心構えを高める	早期注意情報			

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

気象情報を「気象防災速報」と「気象解説情報」に分類

極端な現象を速報的に伝える情報

現状

記録的短時間大雨情報

顕著な大雨に関する気象情報

線状降水帯 2 ～ 3 時間前予測※1

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

今後（令和8年度出水期～）

気象防災速報

（記録的短時間大雨）

（線状降水帯発生）

（線状降水帯直前予測）

（短時間大雪）

（竜巻注意/竜巻目撃）

※1 R8運用開始予定

現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

現状

線状降水帯半日前予測

全般台風情報

全般/地方/府県気象情報

今後（令和8年度出水期～）

気象解説情報

（線状降水帯半日前予測）

（台風第○号）

（※2）

※2 何に着目した情報なのかがわかるよう括弧内にキーワードを付す

（ ）内のキーワードは現時点での想定

2025年12月 運輸防災マネジメントセミナー

今冬の道路交通確保対策について

令和7年12月12日（金）

国土交通省 九州地方整備局
道路部道路管理課 清原 洋二

(本日お話ししたいこと)

1. 冬季対策の基本的な考え方
2. 今シーズンのポイント
3. 昨冬の滞留事例(全国)

1. 冬季対策の基本的な考え方

I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、短期間の集中的な大雪※が局所的に発生
※：大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ
- 短期間の集中的な大雪時に、通常時と比べて自動車の利用台数に変化が見られたケースも存在
→ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも変化の兆し(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路と、並行する国道等を交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果、大規模な車両滞留につながったケースもある

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
- 予防的通行規制区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能

→ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めにしたくないこと」や道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応

今後の考え方

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応

IV 大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

- タイムライン(段階的な行動計画)の作成
 - ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施
 - ・合同訓練実施 ・気象予測精度向上
- 除雪体制の強化
 - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
- 除雪作業を担う地域建設業の確保
 - ・契約方法の改善 ・予定価格の適正な設定等
- 除雪作業への協力体制の構築
 - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
- チェーン等の装着の徹底
 - ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施
- 短期間の集中的な大雪時の行動変容
 - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
 - ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化
- 短期間の集中的な大雪時の計画的・予防的な通行規制・集中除雪の実施
 - ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避
 - ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール、トリガーをタイムラインに位置づけ
 - ・リスク箇所の事前把握と監視強化
- 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応
 - ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
 - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
 - ・地方整備局と地方運輸局等を中心とした乗員保護

(2) ハード的対応

- 基幹的な道路ネットワークの強化
 - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、大雪の観点からもネットワークを強化
- スポット対策、車両待機スペースの確保
 - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
 - ・中央分離帯開口部やUターン路の整備 等

(3) 地域特性を考慮した対応

- ・関係機関が連携する取り組みの具体化については他の地域においても参考にすべき

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

- 短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)
 - ・通行止めの必要性やジャスト・イン・タイムの限界への理解の促進
- 冬道を走行する際の準備
 - ・チェーン等の装備の備え

3. より効率的・効果的な対策に向けて

- 関係機関の連携の強化
- 情報収集・提供の工夫
- 新技術の積極的な活用

人命を最優先に、幹線道路上での大規模な車両滞留を
徹底的に回避する…



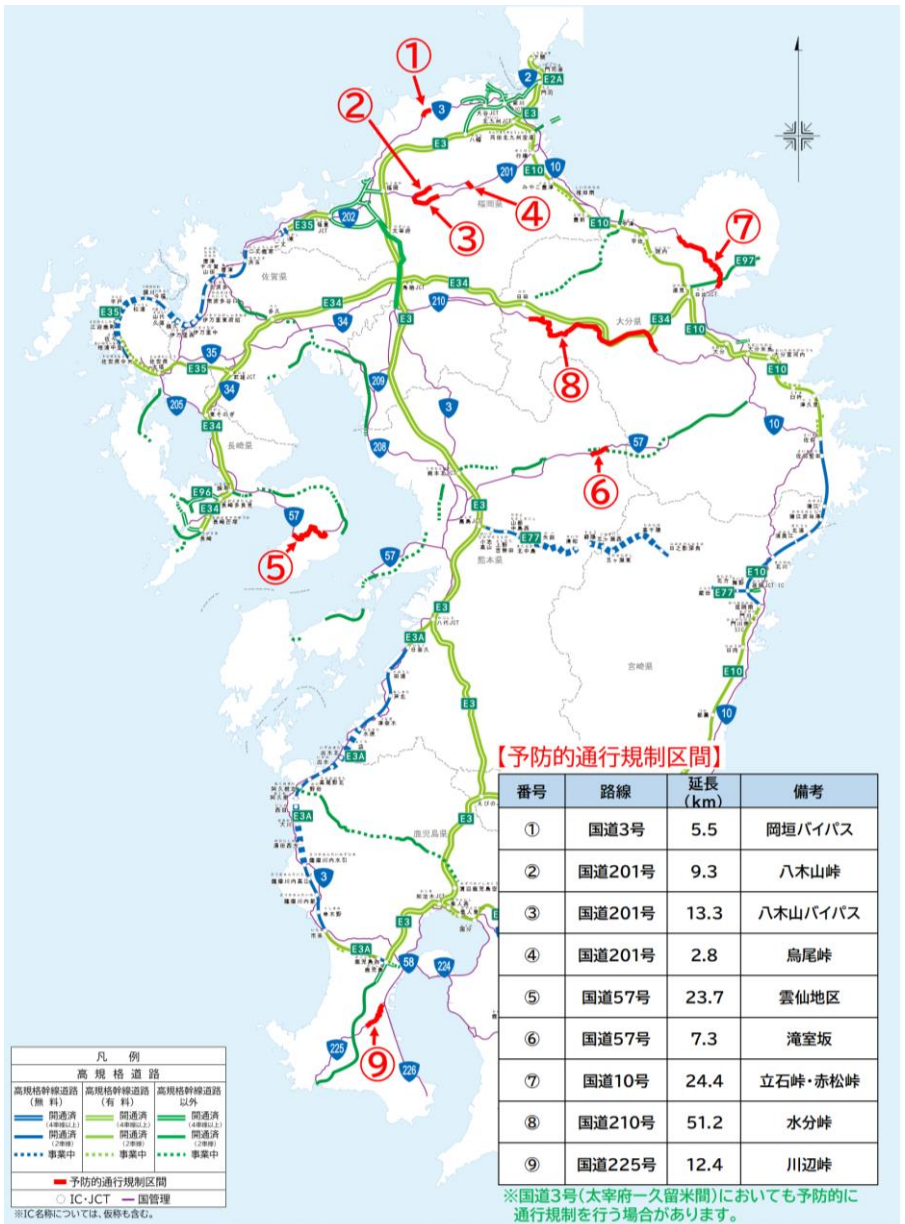
- ✓ 通行止め予測等の繰り返し呼びかけ
- ✓ 広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道との同時通行止め
- ✓ 躊躇しない通行止めの実効性を高めるためにメルクマールやタイムラインを設定
- ✓ 乗員保護

冬季道路交通確保対策に向けたタイムライン

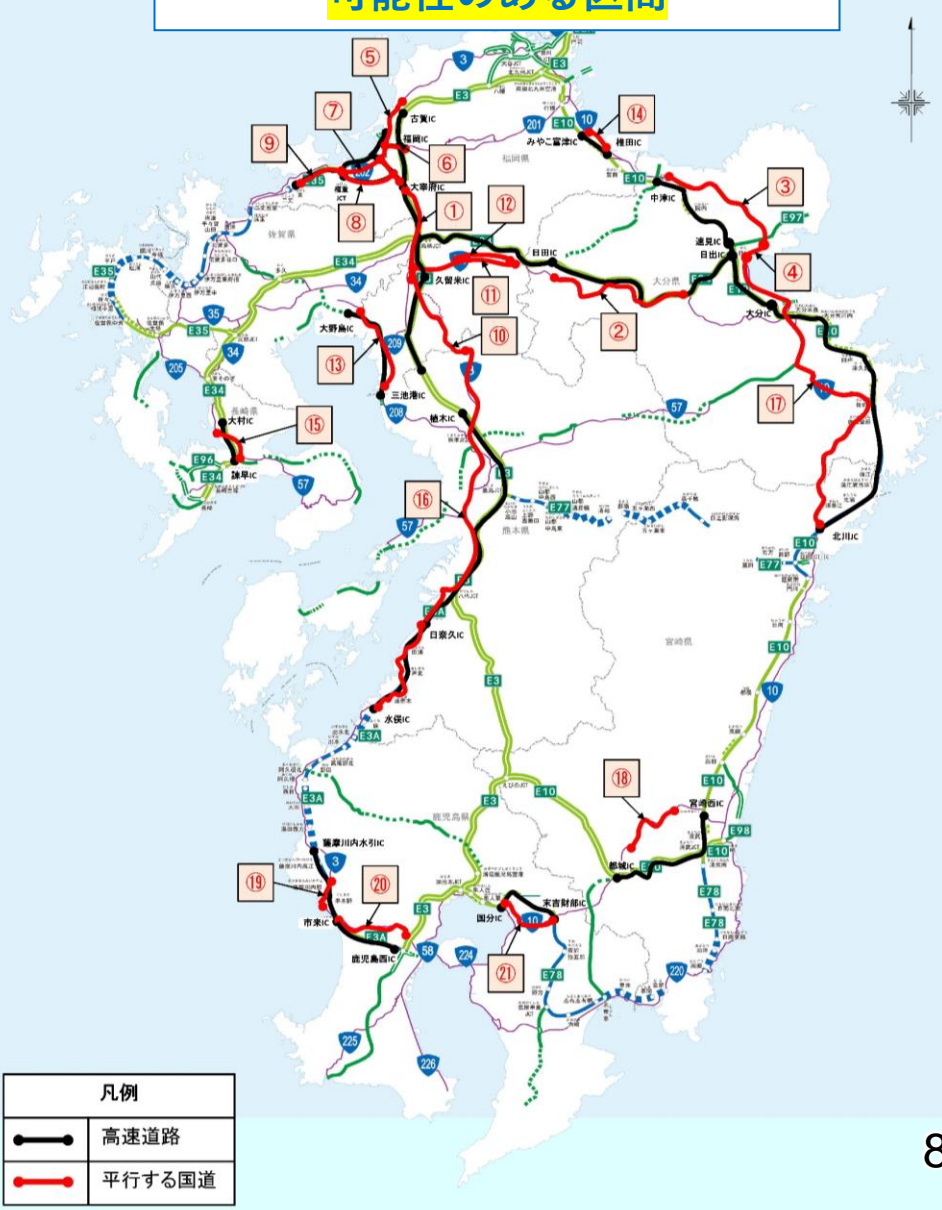
	気象状況	発生する事象	道路管理者の対応	関係機関の対応
降雪期前			<div>・冬タイヤ早期装着の啓発(ポスター、情報板、テレビ、ラジオ、HP、SNS等) 関係機関とのポスターの共有、各地方ブロックの取組の共有等を実施</div> <div>・除雪車出動式、見学会等の開催</div> <div>・冬タイヤ装着状況調査・公表(11月～)</div> <div>・訓練(車両移動、乗員保護等)の実施</div> <div>・今冬の道路交通確保に係る協議会の開催、対策方針の発表 (定量的なメルクマールの確認と共有)</div>	<div>(経産省、農水省、自動車局)</div> <div>・冬用タイヤに関する.....</div> <div>・荷主団体への要請</div>
降雪期	早期注意情報 (警報級の可能性) 大雪の数日～ 約1日前		<div>大雪に対する緊急発表(全国、各ブロック単位)</div> <div>・冬タイヤチェック、路面監視</div> <div>・テレビCM、SNS、道路情報板による繰り返しの呼びかけ (テレビCMは緊急的な呼びかけに切り替え)</div> <div>・情報連絡本部設置(情報の収集・共有の強化)</div> <div>・除雪体制の強化(応援体制構築)</div>	<div>荷主・物流事業者 への要請を依頼</div>
	大雪注意報 大雪の半日～ 数時間前	<div>通行止めを判断する トリガー・メルクマール</div> <div>・降雪状況</div> <div>・降雪予測</div> <div>・交通事故、登坂不能車 による交通障害</div> <div>・並行道路の通行止め</div> <div>・除雪の状況 など</div>	<div>・高速道路等の通行止め予測の公表等 (6時間毎)</div> <div>荷主・物流事業者 への要請を依頼</div> <div>・複数のトリガーやメルクマールによる躊躇ない通行止め判断</div> <div>・広範囲で通行止め(広域迂回を呼びかけ)</div> <div>・高速道路と並行する国道等との同時通行止めを徹底 (緊急車両等は通行確保)</div> <div>・降雪予測により通行止めを行う場合は概ね3時間前に周知</div> <div>・SNS等を活用し通行止め、解除見込み等を繰り返し呼びかけ</div> <div>・緊急脱出用具の試行配備【R4～】</div>	<div>荷主・物流事業者への要請</div> <div>(経産省、農水省、自動車局)</div> <div>・経路変更</div> <div>・運行中止</div> <div>・在庫の積み増し</div> <div>・運行可能範囲での物資の融通 など</div>
	大雪警報 大雪の数時間～ 2時間程度前			
降雪期				
発生後				
発生後				

2. 今シーズンのポイント

予防的通行止め区間



高速道路等に並行した通行止めの可能性のある区間

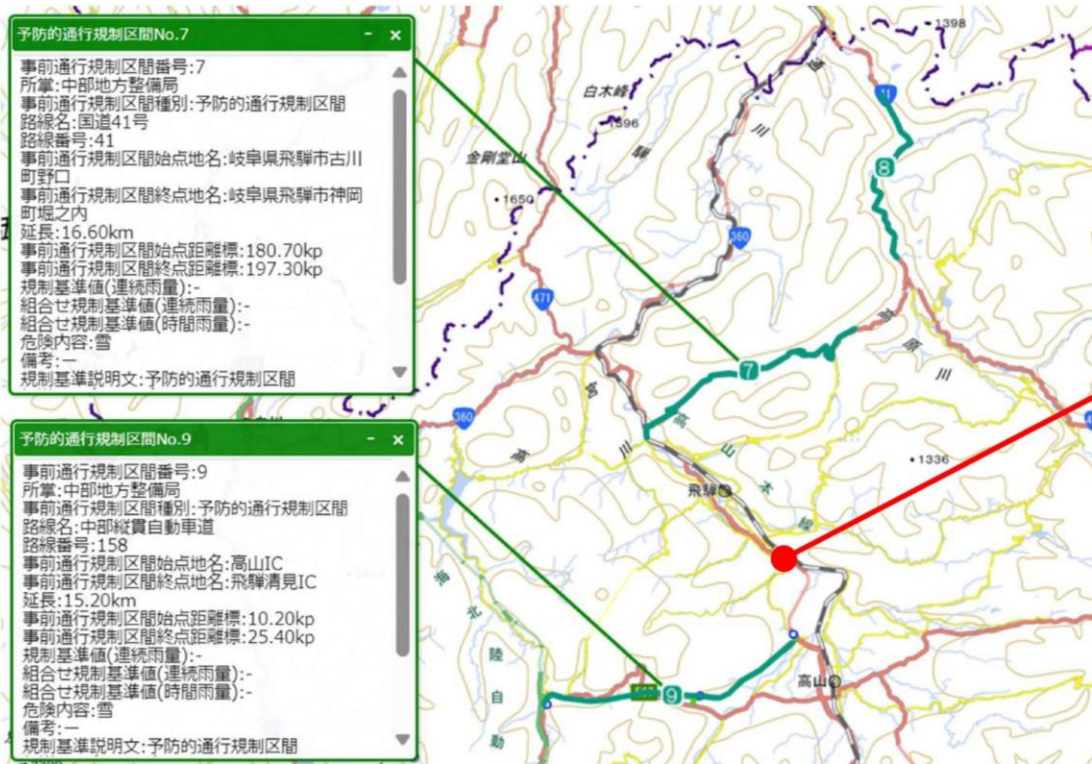


雪害時における待機可能場所の確保(岐阜県)

- 整備局: 中部地方整備局
- 路線名: 国道41号
- 緊急待避所: スーパーセンターシマヤ ラクール飛騨高山店
(岐阜県高山市国府町金桶41番地)
- 覚書締結者: (甲)島屋(株)、(乙)高山国道事務所、(丙)高山市
- 駐車場の除雪: 甲が実施(必要に応じ乙が駐車場の除雪の応援を行うことが可能)
- 使用料: 無料 ⇒大雪時は乙が甲の敷地を待避所として使用する。



R6.11.28_覚書締結式を開催



<シーズン前(～11月末)>

12月には大規模な車両滞留が発生しています

大規模車両滞留の
発生時期 (平成27年度～令和6年度)



冬用タイヤの使用限度
「フラットホーム」をチェック!

冬用タイヤの溝が新品時から50%摩耗すると
使用限度を示す「フラットホーム」が表面に露出します。
このようなタイヤは積雪時、凍結時の性能が
低下するので冬用タイヤとしては使用できません。

ノーマルタイヤでの
積雪・凍結道路走行は
法令違反!

冬用タイヤへの早めの交換。
タイヤチェーンの携行・早めの装着を。
さらに大型車は常にチェーンを携行しよう!

反則金

大型 7千円
普通 6千円
二輪 6千円
原付 5千円



シーズン中も
月に1度は
タイヤ点検を
しましょう



／早めにね!／

11月は
冬用タイヤ装着
運動月間
です

**冬用タイヤに
交換しよう!**

<シーズン中(12月～)>

**大雪予想時は
外出を控えて!**

「大雪に関する緊急発表」が出たら
災害級の大雪のおそれがあります!
いのちを守る行動をとってください!



令和7年3月
山梨県内国道20号における
車両滞留の発生状況

雪みち情報・ライブカメラ・X (旧ツイッター)

外出前にチェック!

全国の雪みち情報「おしえて!雪ナビ」

どうしても出かける
用事があるときは、車内にもしもの備えを!



ノーマルタイヤでの
積雪・凍結道路走行は 法令違反!

反則金 大型 7千円 普通 6千円 二輪 6千円 原付 5千円

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪
または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いゆる
防凍措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)
違反行為は、反則金の適用となります。
※タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、
冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。



令和7年2月3日
九州地方整備局
九州運輸局
福岡管区気象台
NEXCO 西日本九州支社

大雪に関する緊急発表

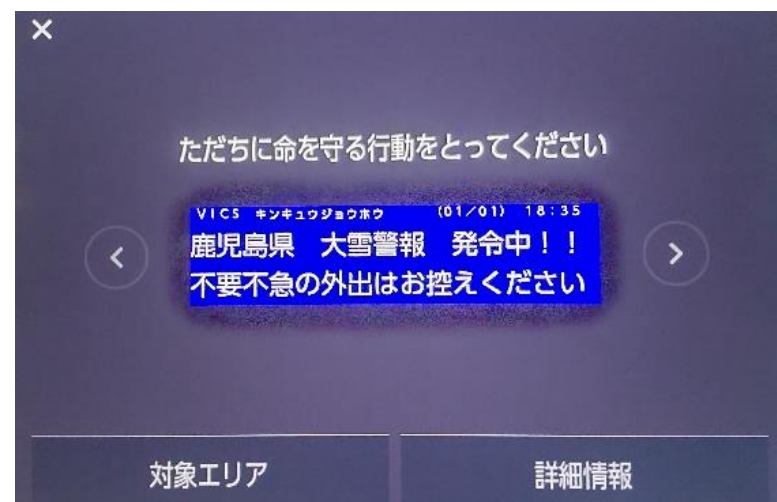
～不要不急の外出は控えください～

- 九州地方では、2月4日から強い寒気が流れ込み、断続的に雪が降り、雪が同じ所で降り続いた場合は警報級の大雪となる可能性があります。平地でも10cm以上の降雪となるおそれがあります。【別紙-1】
- 最新の気象情報及び道路交通情報をご確認ください。【別紙-2】
- 九州の広い範囲において、高速道路や主要幹線道路の通行止めを行う場合があります。直轄国道では、集中的・効率的に除雪を行うため、通行止めを実施する場合があります。
- 積雪の状況によっては、高速道路及びそれに並行する国道を同時に通行止めする場合があります。
- 大雪の場合は、テレワークの活用などを含め不要不急の外出を控えてください。やむを得ずお出かけをする際は、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等をお願いします。ノーマルタイヤでの冬道走行は罰則対象となります。
- 過去の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、事業用自動車に冬用タイヤが装着されていることの確認等、安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。なお、雪道において悪質な立ち往生が発生した場合には、監査で事実関係を確認したうえで、講じた措置が不十分と判断されれば、行政処分の対象となります。適切な運行管理を行うようお願いします。
- 公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生する場合があります。交通事業者の発表する情報、テレビ・ラジオ等の報道による情報の他、「九州のりもの info.com（災害時等公共機関別運行（航）情報システム）」
[<http://www.norimono-info.com/>]により、最新の運行（航）情報をご確認のうえ、外出が必要な場合は十分な時間的余裕を持って行動頂くようお願いします。



▲令和7年2月5日

九地整防災室から報道番組に生出演し、通行止め情報や不要不急の外出を控える等と呼びかけ



▲令和7年2月4日

大雪警報発表後、VICISを利用したカーナビへ注意喚起をポップアップ表示

大規模滞留時の乗員保護

- 乗員保護かつ小津時に保護者に寄り添った対応の実施
- 加熱ボックスの準備(温かい食事)、インバウンド対応(多言語指さしツール)を準備

■温かい食料の提供



■トイレカー



■インバウンド対応(多言語対応)

困っているものリスト①			
日本語	飲料水	食べ物	毛布
English	Drinking water	Food	Blanket
한국	음료수・물	음식물	담요
中国語	饮用水	食品	毛毯
中國語	飲用水	食品	毛毯
日本語	トイレ	電話(国際)	ワイファイ
English	Toilet	Telephone	Wi-Fi
한국	화장실	전화	와이파이
中国語	卫生间	电话	Wi-Fi
中國語	廁所	電話	Wi-Fi
日本語	充電	ガソリン(スタンド)	薬
English	Recharge	Gasoline	Medicine
한국	충전	휘발유	약
中国語	充电	汽油	药
中國語	充電	汽油	藥

大規模滞留時の乗員保護、自治体支援

- 雪寒地域・積雪地域を有する事務所に、ポータブルEV充電器を配備
- EVのみならず、湯沸かし、携帯電話の充電などにも利用可能
- また、自治体支援として小型除雪機の貸与を進める

■可搬型EV充電器による給電イメージ



(参考)

EcoFlowTechnology社 DELTA Pro 3

- ・バッテリー容量: 4,096wh
- ・出力: 3,600w
- ・重量: 51.5kg
- ・1時間程度で15km程度の走行に必要な給電が可能
- ・金額: 約60万円



小型除雪機(1.1m)



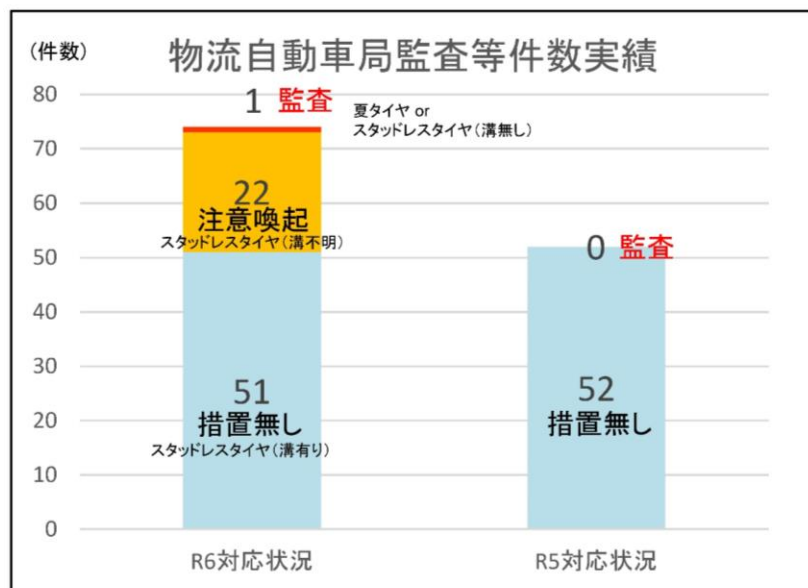
小型除雪機(0.8m)



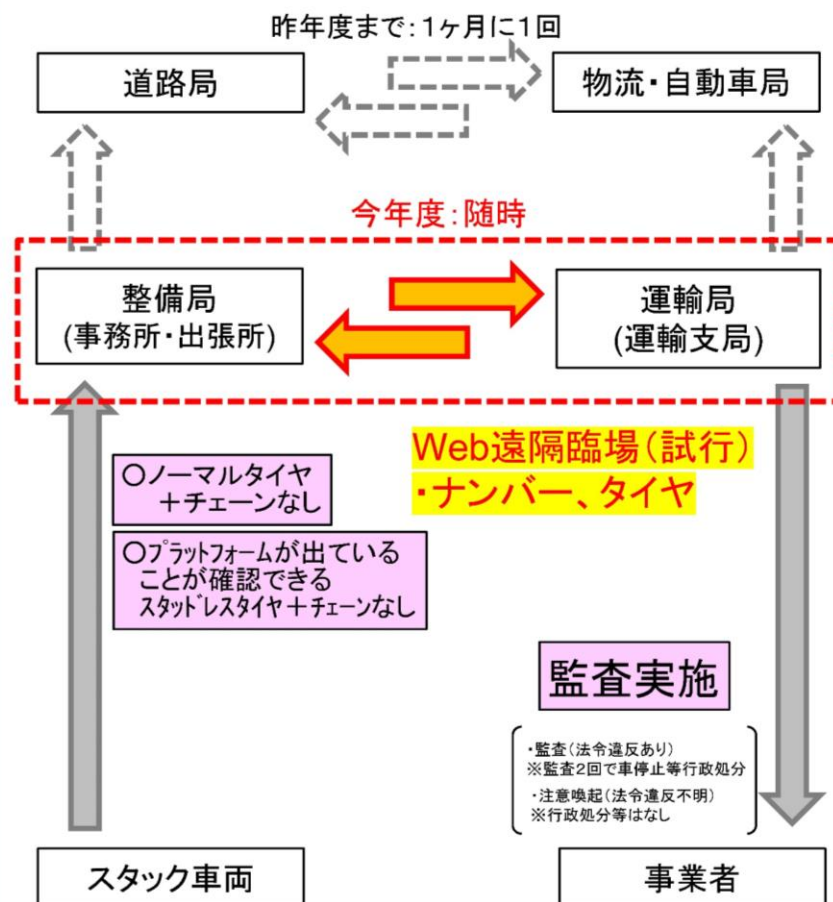
スタック車両への対応 トラック事業者への連絡

- トラック等のスタック車両は、今年度より運輸局と連携した現場レベルでの指導を行う
- 悪質スタック発生時の運転者への対応は、警察へ連絡し、取り締まりの検討を依頼

- 調査等対象台数: 74台
 - 運送事業者へ**監査(悪質なもの): 1台**
 - 運送事業者へ**注意喚起: 22台**
 - 措置なし: 51台**



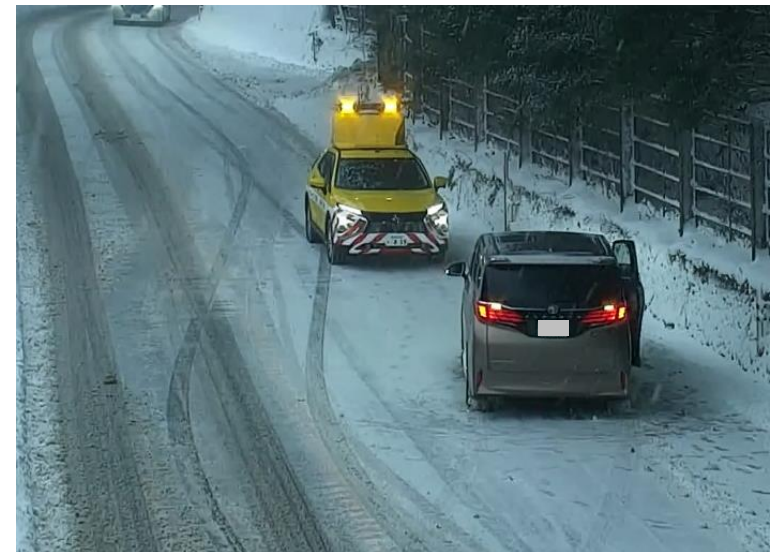
スタック車両情報提供・指導の流れ改善(案)



3. 昨冬の滞留事例（全国）



▲2/5 南九州道



▲2/7 16:40 長崎57号雲仙



▲2/4 10:00 南九州道都ICランプ



▲2/5 17:40 長崎57号雲仙

- 東名高速が高速隊からの要請で、急遽、通行止めを実施
- 国道20号は、交通量が少ないと過信し、通行止め実施せず



国道20号 山梨県北杜市



国道20号 山梨県



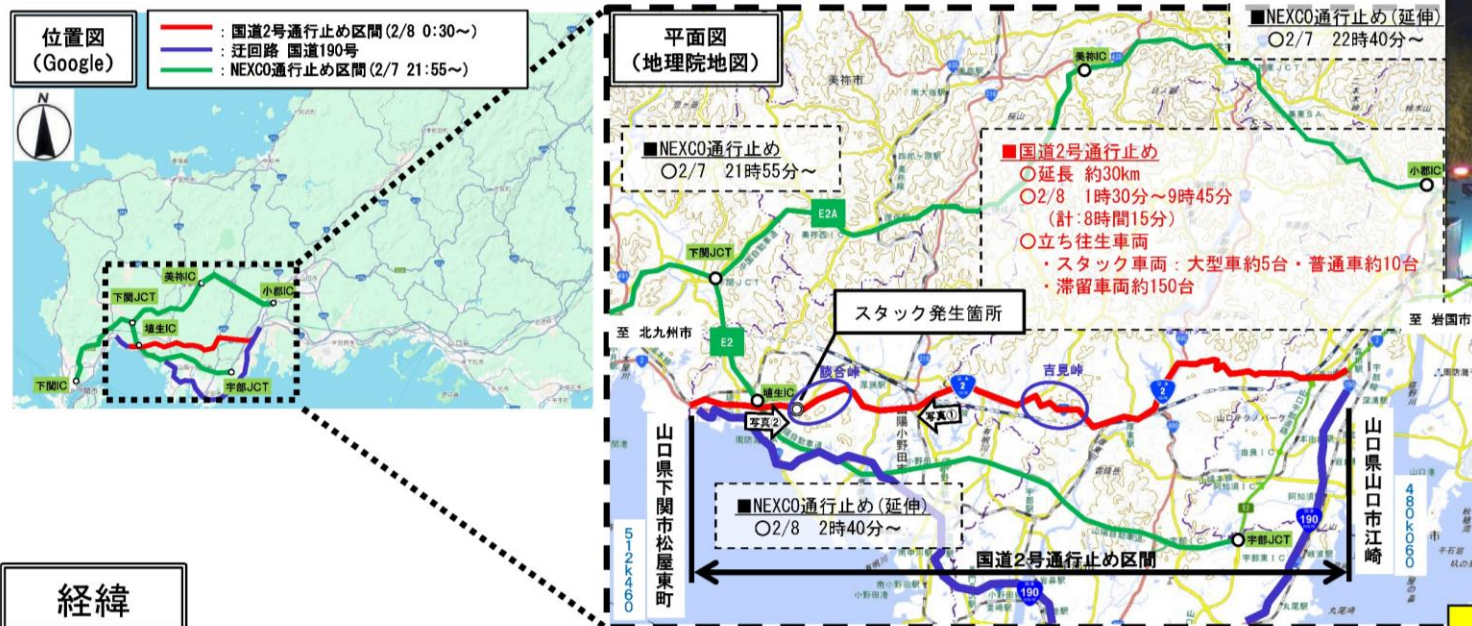
国道20号 山梨県北杜市



令和7年2月8日大雪による国道2号山口県山陽小野田市の車両滞留

- 並行する高速道路（NEXCO西日本 中国自動車道・山陽自動車道宇部下関線）において、雪のため急遽通行止めを実施。
○並行する国道は、予防的通行止め区間ではなかったため、並行する高速道路の通行止めに応じた対応は行っていなかった。
○令和7年2月8日0時30分頃、国道2号において、ノーマルタイヤの大型車がスタックし、車両滞留が発生。
⇒滞留車両延長：令和7年2月8日 7時00分時点 約5km
⇒車両排出に要した時間：令和7年2月8日0時30分～9時00分（8時間30分）
⇒通行止め時間：令和7年2月8日1時30分～9時45分（8時間15分）

ノーマルタイヤ滞留車に
スノーソックスを貸与・装着させ退出



写真① 滞留車両の状況

経緯

令和7年2月3日(土)

16:10 注意体制発令(雪害)

令和7年2月7日(金)

- 18:52 凍結防止剤散布開始(国道2号宇部管内全線)
19:15 凍結融雪剤散布開始(吉見峠・塩カル)
21:12 凍結融雪剤散布開始(談合峠・塩カル)
21:55 中国道 美祢IC~下関IC、
山陽道 埴生IC~下関IC 通行止め
22:40 中国道 小郡IC~美祢IC 通行止め
23:00 凍結防止剤散布開始(国道2号宇部管内全線)

令和7年2月8日(土)

- 0:30頃 国道2号 山陽小野田市においてスタック発生
1:30 国道2号 全面通行止め(迂回路 国道190号)
2:40 山陽自動車道宇部下関線 宇部JCT~埴生IC通行止め延伸
3:20 上り線 滞留車両 退出開始
3:30 下り線 立ち往生車両にスノーソックス装着し退出開始
4:00 上り線 滞留車両 退出概ね完了 車線解放
9:00 下り線 滞留車両 退出完了
9:45 除雪・凍結防止剤散布完了・通行止め解除

ノーマルタイヤ

至 岩国市



写真② 立ち往生した先頭車両の状況

令和7年1月10日大雪による国道32号徳島県三好市の車両滞留

- NEXCO西日本は、大雪による予防的通行止めを、令和7年1月9日(木)19時より開始
- 一方、並行国道は、メルクマールを下回る予測であったため、同時通行止めは未実施
- 令和7年1月10日1時20分頃、国道32号において、大雪に伴い大型車がスタックし、車両滞留が発生
 - ⇒滞留車両台数：令和7年1月10日 4時10分時点 69台(スタック車両4台、滞留車両65台)
 - ⇒通行止め時間：令和7年1月10日 4時10分～10時30分(6時間20分)



立ち往生した先頭車両の索引状況

- 課題**
- ① メルクマールを下回る予測であったため、既に継続中の除雪・散布対応で十分対応可能と考えた。
 - ② 現地到着の早かった警察により、滞留車両を排除すべく片側交互通行規制が実施されていたが、当該区間は路線の線形が悪く幅員狭小な箇所が多く、さらに上り勾配であったため追い越し車両がスタックし、上下線を塞ぐ状況が発生し、車両移動に時間を要した。
 - ③ 通行止め可能性の合同プレスは実施したものの、当該区間は含まれておらず、事前周知が不足した。



- 対応策**
- ① 並行する高速道路が予防的通行止めを実施する場合は、予測に関わらず、通行止め体制を整え現地配備を完了させ、不測の事態に備える。
 - ② 片側交互通行規制は実施せず、原則通行止めのうえ、滞留車両の移動を行う。
 - ③ 並行する高速道路が予防的通行止めを実施する際は、予測に関わらず並行する直轄国道の通行止め可能性について事前プレスを行う。

ご清聴ありがとうございました

西日本高速道路における 雪氷対策の取り組み

令和7年 12月12日

西日本高速道路株式会社 九州支社



1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）
4. 高速道路の冬期情報提供
5. 運輸事業者さまへのお願い

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要

2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針

3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）

4. 高速道路の冬期情報提供

5. 運輸事業者さまへのお願い

■ NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要

NEXCO

九州支社 雪氷対策期間

<令和7年11月20日

~令和8年3月31日（132日間）>





■ 上記の期間において、

気象状況等に応じて冬期対策作業を行います。

➢ 対象事務所：8事務所【沖縄（高）を除く】

➢ 対象延長：約1,060 km【沖縄道 57 kmを除く】

高速道路凡例

	営業中	3,625 km
	新設・改築事業中 ^{※1※2}	56 km ^{※3}
	NEXCO西日本グループが管理するその他の道路	
	他の道路管理者が管理する道路	

※1 事業中のインターチェンジ等の名称は仮称を含む
※2 図中においては一部6車線化及び4車線化事業を含み表示している
※3 改築事業中区間延長は含まない
※（表記上の略称）SA：サービスエリア PA：パーキングエリア
JCT：ジャンクション S：スマートインターチェンジ



1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要

2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針

3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）

4. 高速道路の冬期情報提供

5. 運輸事業者さまへのお願い

大雪時の冬期道路交通確保の基本方針

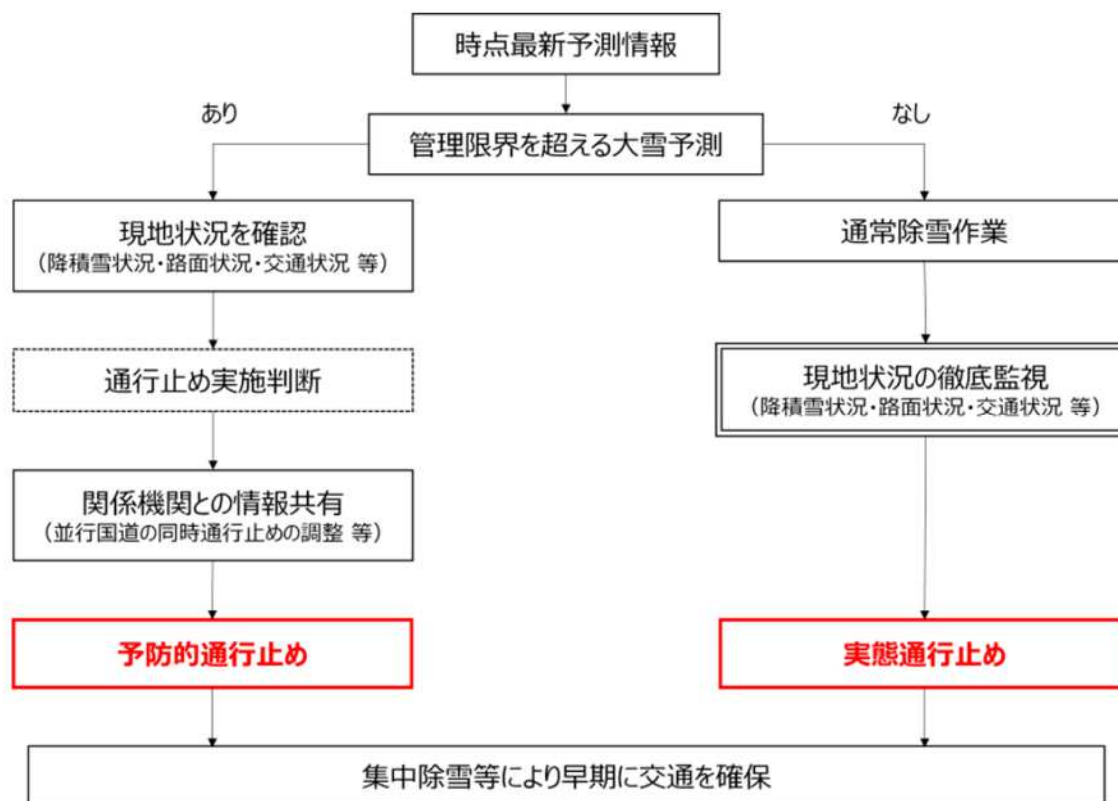
基本方針： 人命を最優先に大規模な車両滞留を徹底的に回避する

➡ 冬の高速道路の安全・安心を確保するため、上記基本方針のもと、凍結防止剤散布作業や除雪作業等、高速道路の安全で円滑な交通確保に向けて各種対策に取り組み、大雪時の雪氷対策の強化を図っています。

大雪による通行止め発生時のオペレーション

▶ 気象予測情報により大雪が予測される場合は、現地状況等を踏まえ、関係機関と調整のうえ予防的通行止めや並行国道との同時通行止めを実施します。

なお、立ち往生車や滞留車が発生する前に躊躇ない通行止めを実施するため、以下のオペレーションを基本とします。



段階	国・自治体・警察・ 気象台など	NEXCO西日本	記者発表	ウェブ サイト	X等の SNS (旧Twitter)	高速道路 影響情報 サイト	テレビCM ラジオCM	道路情報板
1週間前	気象情報の共有など	通常の雪氷体制			冬装備 安全運転		冬装備 安全運転	冬装備 安全運転
3日前	情報連絡本部での連携	体制強化 ・応援派遣 ・協力要請 (災害協定事業者など)	大雪が予想される地域と時期 ① 注意喚起・出控え・予想される通行止め区間				出控え	
1日前	大雪に関する緊急発表		通行止め可能性区間と時間帯 ② ※概ね6時間毎に見直し(当日)					注意喚起
降雪中	<ul style="list-style-type: none"> 情報の一元的収集・共有 関係機関での各種調整・協議 道路利用者や地域住民への情報提供 	立ち往生車・ 車両滞留発生前に 予防的通行止め 集中除雪	【通行止めの場合】 ・通行止め区間					冬タイヤ装着 ／チェーン携行 規制情報 通行止め等

6

大雪時の冬期道路交通確保に向けた取り組み

■ 最大限の凍結防止剤の散布や除雪作業等を行い、高速道路の交通確保に努める

⇒ 気象予測に基づく体制構築、凍結防止剤散布車両等による最大限の冬期対策作業

■ 主な雪氷作業



凍結防止剤散布作業



除雪作業車による梯団除雪



休憩施設園地部の人力除雪



温塩水散布車による融雪作業



散水車による排雪作業



凍結路面部の人力除雪

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
- 3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）**
4. 高速道路の冬期情報提供
5. 運輸事業者さまへのお願い

■九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）

○雪通行止めの実績【5回】

期 間	通行止め		
	延べ時間	延 長	※管理延長比率
(1) R6.12.19	5時間17分	47.6km	約4.3%
(2) R7.1.9~1.10	20時間32分	114.4km	約10.4%
(3) R7.2.4~2.6	56時間51分	291.6km	約26.6%
(4) R7.2.7~2.8	25時間53分	186.5km	約17.0%
(5) R7.3.19	13時間48分	127.3km	約11.6%

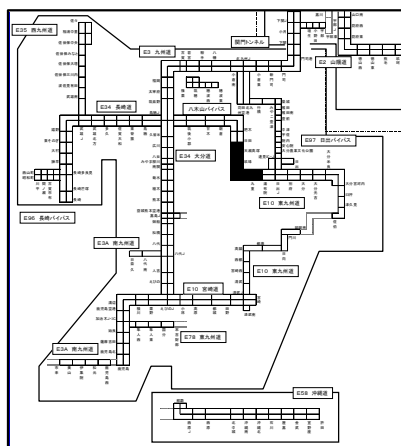


令和7年2月4日積雪状況
(東九州道 椎田南IC～豊前IC間)

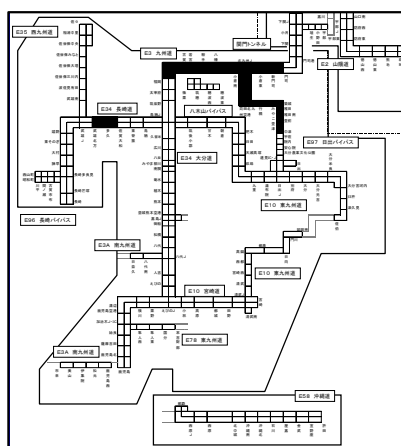
(3)R7年2月4～6日にかけて実施した通行止めは、一部区間にて**予防的通行止めを実施（九州道 八代JCT～えびのIC）**

<凡例>

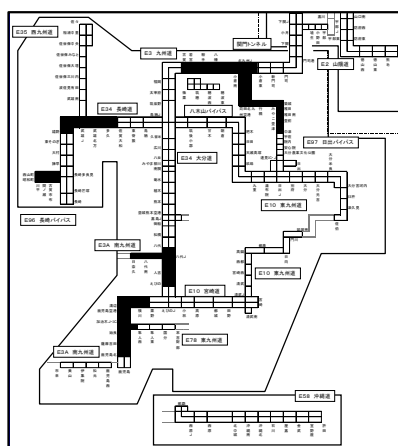
■：通行止め区間



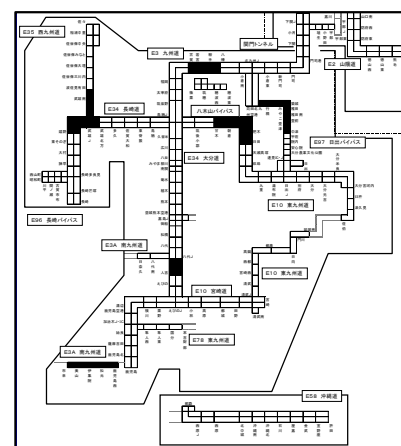
(1) 大分道



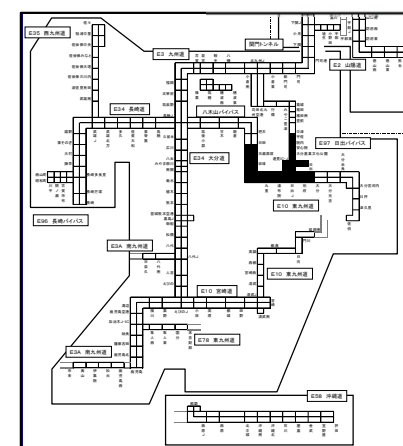
(2) 九州道、東九州道、長崎道



(3) 九州道、東九州道、南九州道
長崎道、長崎バイパス



(4) 九州道、東九州道、南九州道
大分道、長崎道、西九州道



(5) 東九州道、大分道
日出バイパス

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）
- 4. 高速道路の冬期情報提供**
5. 運輸事業者さまへのお願い

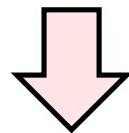
■ 事前の通行止め予測広報

大雪等による交通影響が予想される場合は、高速道路の利用者に向けて、通行止めの可能性がある区間を概ね2日前から通行止めマップを用いて、会社ホームページやCM（テレビ・ラジオ）、アイハイウェイ等で情報提供するなど、運行計画変更や出控え等を促し、社会的影響の最小化を図る。

◆大雪予報時におけるNEXCO西日本ホームページ広報のイメージ



(例)
大雪予報が出ています
高速道路で通行止めの可能性
外出はお控え下さい



クリックすると関連情報を表示



暴風雪と大雪予報による通行止めの可能性について ～不要不急のご利用はお控えください～ 【1月7日 12時00分発表】

1月7日（木）から1月9日（土）頃にかけて、西日本の広い範囲で暴風雪や大雪による通行止めの可能性があります。

本日7日10時時点で、今後24時間以内に通行止めが予測される区間については、別添をご参照ください。

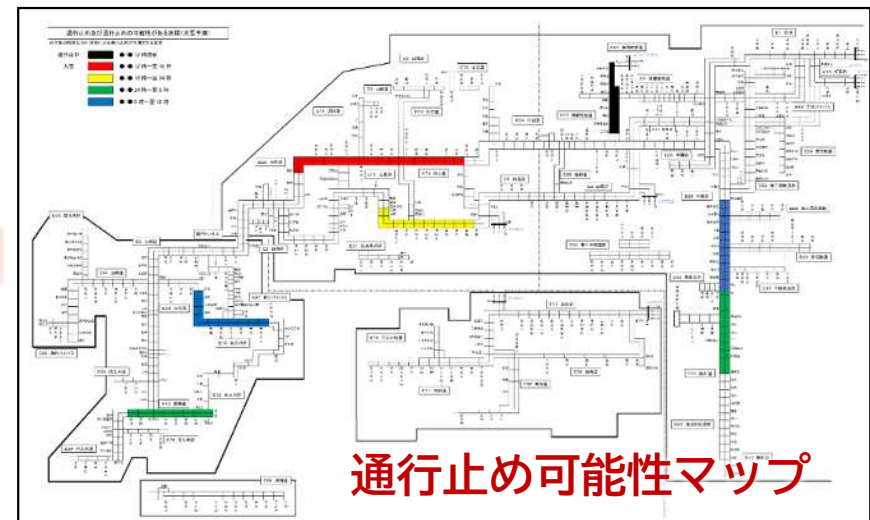
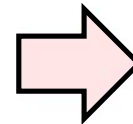
（別添資料）【1月7日 10時00分時点】（西日本管内） **別添資料をクリックすると通行止めの可能性マップを表示**

高速道路で、一台でも自力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。

また、降雪状況によっては早めに通行止めを行い除雪作業を行う場合があります。

やむを得ず高速道路をご利用になるときは、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いするとともに、今後の気象予報や最新の交通状況をご確認いた

【ノーマルタイヤでの雪道走行は、非常に危険です。】



通行止め可能性マップ

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み



高速道路影響情報サイト

※高速道路各社のポータルサイト！

iHighway公式X(旧Twitter)

▲ 重要なお知らせ

E2山陽自動車道 播磨JCT～赤穂IC間下り線(岡山方面)通行止め ～広域う回のご協力をお願いします～

NEXCO HPへ移動⇒

発表されている情報はありません。

発表されている情報はありません。

発表されている情報はありません。

渋滞・規制情報

iHighway ドラぷら E-NEXCO Drive Plaza

E2山陽自動車道 播磨JCT～赤穂IC間下り線(岡山方面)通行止め～広域う回のご協力をお願いします～

2023年09月11日20時00分 現在 西日本高速道路株式会社

E2 山陽自動車道 播磨ジャンクション(JCT)～赤穂インターチェンジ(IC)間の尼子山トンネル(下り線)内火災の影響により、下り線(岡山方面)の通行止めを実施しております。火災の影響による損傷が甚大であり、通行止め解除まで相当な期間を要することが想定されます。引き続き早期通行確保および1日も早い復旧に向けて関係機関等と連携し対応をすすめてまいります。

なお、上り線(大阪方面)の通行止めについては、9月11日(月)20時に解除しました。



「公式」

iHighway 交通情報 (関西) @iHighwayKansai

➤ URL : <https://x.com/iHighwayKansai>



関西

iHighway 交通情報 (中国) @iHighwayChugoku

➤ URL : <https://x.com/iHighwayChugoku>



中国

iHighway 交通情報 (四国) @iHighwayShikoku

➤ URL : <https://x.com/iHighwayShikoku>



四国

iHighway 交通情報 (九州) @iHighwayKyushu

➤ URL : <https://x.com/iHighwayKyushu>



九州

iHighway

◆アプリ版

中国エリア

緊急テロップによる情報発信 X (旧Twitter) との連動

【九州・沖縄エリアお知らせ】「西日本の広い範囲で暴風雪や大雪による通行止めの可能性があります。詳しくはw-nexco.co.jp」

2021年01月07日 12:17 iHighway 交通情報 (全国)

現地カメラの道路交通状況等の提供

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み（発信力の強化）

■ TVCMでの出控え広報



■ インターネット及びアプリでの広報



・冬用タイヤ啓発・大雪時の出控え広報に併せて
ウェザーニュースのお天気アプリに広告を掲載

■ 情報板によるノーマルタイヤ装着車両への注意喚起・啓発

ノーマルタイヤ装着車両への注意喚起・啓発を広域情報板にて出控え広報等のタイミングに合わせて表示点灯を実施。

上段：○/○にかけて大雪通行止めの可能性！
下段：ノーマルタイヤでの走行は危険です！

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み (iHighway お知らせメール受信登録のお願い)



- 今期からは、新たにスマートフォンの画面に直接通知が届く「プッシュ通知」を導入します。これによりメールを確認していない利用者にも、出控え情報を確実に届けることが可能となります。 **新規**

大雪が予測される概ね**3日前**から
(出控え、交通影響地方掲載)

西日本の広い範囲で大雪になるおそれがあります
～外出はお控えください～
(●月●日(●)～●月●日(●))

●月●日(●)から●月●日(●)にかけて、西日本の広い範囲で大雪が予測されています。

この大雪の影響により、下記の地方の高速道路で交通への影響が生じる可能性がありますので、外出はお控えいただきますようお願いいたします。

大雪が予測されている地方
近畿地方・中国地方・四国地方・九州北部地方・九州南部・奄美地方

- 降雪区間では、安全確保のため、速度規制や冬用タイヤ規制を行う場合があります。
- 高速道路をご利用になるときは、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンを必ず携行していただくとともに、特に雪道を走行する際にはチェーンの装着をお願いします。
- 高速道路では、一台でも自力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。
- 運送事業者および荷主企業の皆さまも、今後の気象予測や最新の交通状況をご確認いただき、広域迂回のご検討や運送日の調整をいただくなどのご協力を併せてお願いします。

最新の交通状況や今後の気象予測をご確認いただきますようお願いいたします。

■最新の交通情報
高速道路をご利用の際は、最新の交通情報をご確認ください。

- アイハイウェイ(NEXCO西日本) <https://ihighway.jp/>
24時間、高速道路の道路交通情報をマップや文字情報で確認することができます。
- 高速道路影響情報サイト <https://ex-ssw.com/>
高速道路各社のホームページに掲載している重要なお知らせを確認することができます。
- 日本道路交通情報センター(JARTIC) <https://www.jartic.or.jp/>
一般道を含めた道路交通情報を確認することができます。

大雪が予測される概ね**2日前**から
(出控え、**通行止め可能性マップ**掲載)

大雪の影響により通行止めの可能性があります
～外出はお控えください～
(●月●日(●)～●月●日(●))

●月●日(●)から●月●日(●)にかけて、強い冬型の気圧配置による大雪のため、当社管内の高速道路で、通行止めの可能性があります。

お客さまには大変ご迷惑をおかけしますが、外出はお控えいただきますようお願いいたします。

通行止めの可能性のある区間は、別添資料をご参照ください。
(別添資料)【●月●日(●) ●時●分現在】(西日本管内)

- 高速道路では、一台でも自力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。
- 降雪状況によっては早めに
- やむを得ず高速道路を
- 運送事業者および荷主企

最新の交通状況や今後の

■最新の交通情報
高速道路をご利用の際は、最新の交通情報をご確認ください。

- アイハイウェイ(NEXCO西日本) <https://ihighway.jp/>
24時間、高速道路の道路交通情報をマップや文字情報で確認することができます。
- 高速道路影響情報サイト <https://ex-ssw.com/>
高速道路各社のホームページに掲載している重要なお知らせを確認することができます。
- 日本道路交通情報センター(JARTIC) <https://www.jartic.or.jp/>
一般道を含めた道路交通情報を確認することができます。

通行止め可能性マップ

ihighway登録者の内、希望者へメール配信
+

ihighwayアプリユーザーのスマホ画面へ
プッシュ通知を開始 **新規**



iHighwayアプリ累計ダウンロード回数
約700万回(R7. 9. 1現在)

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み (iHighway お知らせメール受信登録のお願い)



快適なドライブに
 ハイウェイ交通情報サイト
無料で使える
iHighway
 アイハイウェイ

／新機能追加／
 スマートフォンの画面に直接通知が届く「**プッシュ通知機能**」を導入しました

スマートフォンでもPCでもご利用できます。

アイハイウェイ で検索! <https://ihighway.jp/>

アプリのダウンロードはこちら

i-Highwayのユーザー登録様向けに、高速道路の「お知らせ」情報をメールにてお届けします。アプリをダウンロードされた方は、「マイルート」から受信登録をお願いします。

PCから受信をご希望される方は以下のURLから受信登録をお願いします。

<https://ihighway.jp/pcsite/myroute>



道路交通法により走行中のドライバーによる携帯電話の使用は禁止されています。ご利用は、出発前や休憩施設などの停車中、もしくは同乗者の方による操作をお願いします。



iHighway アイハイウェイ

高速道路のドライブに
無料で使える便利な機能が満載

よく利用するルートに登録すると
交通情報がメールで届く!

よく利用する高速道路のルートをおらかじめ登録しておけば、登録したルート(マイルート)の交通状況を確認できます。また通勤時など指定した時刻にお知らせする「定時メール」も便利です。

—— マイルート登録でメールのお知らせが届きます ——

■通行止/解除のとき ■渋滞を伴う事故発生のとき ■大雨が予想されるとき

マイルート登録は簡単! 3ステップ

1. メールアドレスとパスワードを登録
2. 登録メールのURLをクリック
3. 出発・到着のICを選択

お出かけ先や経由地の
高速道路上の天気を確認!

お出かけ先や経由地の天気予報、台風や大雨警戒情報を確認できます。
※西日本エリアのみのサービスです。

高速道路やSAPAの駐車場の混雑状況を画像で確認!

高速道路本線や、SA・PAの駐車場の混雑具合を画像で確認できます。

通行止の解除に向けた作業状況を確認!

通行止区間の作業の状況や解除に向けた状況を確認できます。

乗継ICや料金を確認

高速道路の料金・経路をお調べできます。所要時間などドライブに役立つ参考情報等もお知らせします。

5分ごとに更新されるマップで交通状況を確認!

関西エリア

高速道路の大切なお知らせ

出発 到着

【受信登録方法】

新規登録

メールアドレスとパスワードを入力してください

メールアドレス (4桁)

パスワード (8文字以上10文字以内を指定してください)

確認のため、もう一度パスワードを入力してください

パスワード

登録を進める

※NEXCO西日本グループからのお知らせ受信はONを選択

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み (iHighway お知らせメール受信登録のお願い)

i-Highwayのユーザー登録様向けに、高速道路の「お知らせ」情報をメールにてお届けします。

PCでの登録方法(例) ... URL: <https://ihighway.jp/pcsite/myroute>



初めてご利用の方

新規登録

新規登録

アカウントを登録することにより、道路の通行止めや事故・渋滞の情報をメールで受信することも可能です。

ユーザー登録及びサービスをご利用頂くための利用料、情報提供料など特別な料金は不要(無料)です。

但し、ケータイ版をご利用の場合は、パケット代等の通信料はお客様の負担となります。

メールアドレス、パスワードを入力

メールアドレス(アカウント)

メールアドレス

メールアドレス(確認用再入力)

パスワード

パスワード

パスワード(確認用再入力)

▼下記の項目を任意で入力

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

年齢

ご利用の用途 ☐ レジャー ☐ 仕事(運送) ☐ 仕事(その他)

☐ その他

☒ NEXCO西日本グループからのお得情報、お知らせ、アンケート等を受信する

ご入力いただいたメールに、仮登録メールを配信

アイハイウェイユーザー新規登録

登録はまだ完了していません。

ご入力いただいた下記のEメールに、仮登録のメールを配信しました。

satomi@wnl.com

仮登録メールを受信して、本サイトにアクセスして下さい。

※メールにあるURLの有効期限は48時間です。48時間経過してしまった場合、最初から再登録することになります。

※数分待っても仮登録メールが届かなかった場合は、Eメールアドレスを確認の上、お手数ですが改めてユーザー登録をお願いします。

「☒NEXCO西日本グループからのお得情報、お知らせ、アンケート等を受信する」に、必ずチェックをお願いします。

チェックを外すと当社からの通行止め等に関する情報が受信できません。

ユーザー登録情報を入力

アカウントの登録

登録するメールアドレス、パスワードを入力し、「送信」を押すと、登録したメールアドレス宛てに仮登録のメールが配信されます。

差出人: info@ihighway.jp

宛先: 非表示

ハイウェイ交通情報(アイハイウェイ)よりアカウント仮登録のお知らせ

今日 9:56

この度は、ハイウェイ交通情報をご利用いただき、ありがとうございます。

下記のURLからサイトにアクセスして、ユーザー登録を完了してください。

◆ユーザー登録はコチラ↓

<https://dev.ihighway.jp/pcsite/index.html?contents=myroute&rm=regist&key=a7af007b70d637975a>

弊社サービスに登録された覚えのない方は、お手数ですが、このメールを破棄して下さいようお願いいたします。

西日本高速道路SHD(株)

ユーザー新規登録 完了

アイハイウェイユーザー新規登録【無料】

登録ありがとうございました。ユーザー登録が完了しました。

サイトにログインして、マイルルート登録やメールの設定を行ってください。

※既に、ケータイ版のハイウェイ交通情報をご利用の方は、ケータイ版と同じマイルルート情報をPCからでも閲覧、変更することも出来ます。

ログイン後の説明に沿って、登録作業を進めて下さい。

アイハイウェイユーザーログイン

登録済みのPCのEメールアドレス(アカウント)を入力して下さい。

Eメールアドレス

パスワード

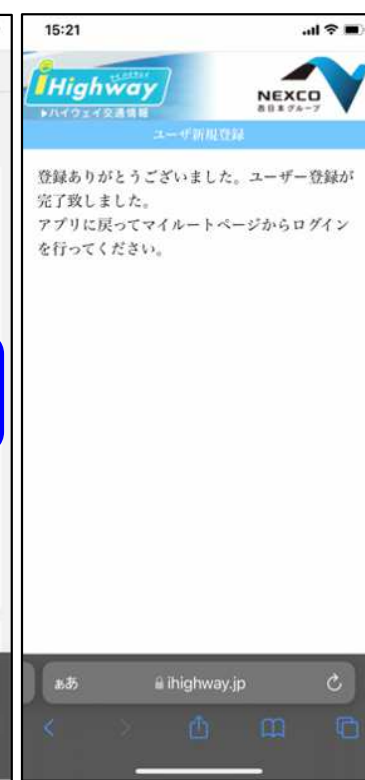
☐ 次回から自動でログインする

←パスワードを入力して、クリックしてください。

■ 雪氷対策に伴う広報の取組み (iHighway お知らせメール受信登録のお願い)



アプリでの登録 … アプリをインストール後、新規登録画面へ



「☒NEXCO西日本グループからのお知らせ受信」はONを選択



■ 雪氷対策に伴う広報の取組み (iHighway お知らせメール受信登録のお願い)

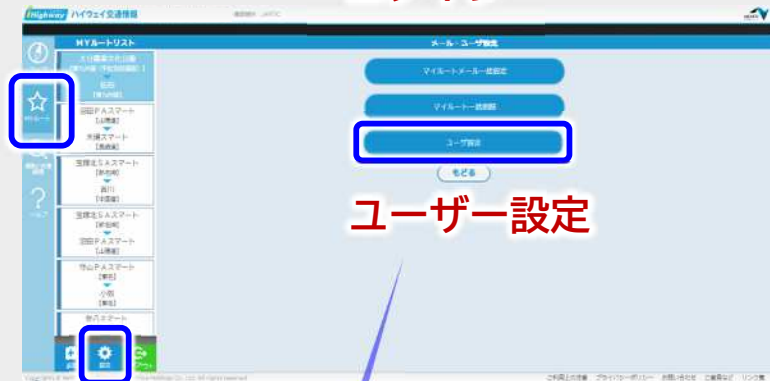
すでに登録済みの場合 … 登録済みユーザーにてログイン

PC版



ログイン画面のスクリーンショット。メールアドレスとパスワードの入力欄があり、パスワード欄には「※パスワードは「●」で表示されます」という注釈があります。ログインボタンは緑色の「ログイン」です。

ログイン



ユーザー設定画面のスクリーンショット。左側のメニューには「マイページ」が選択されています。右側のメインエリアには「メールアドレス変更」、「パスワード変更」、「ユーザー登録情報変更」の3つのタブがあります。ユーザー登録情報変更タブが選択されており、性別、年齢、ご利用の用途などの入力欄があります。

ユーザー設定

ユーザー登録情報変更



ユーザー登録情報変更画面のスクリーンショット。性別、年齢、ご利用の用途などの入力欄があります。下部には「NEXCO西日本グループからのお得情報、お知らせ、アンケート等を受信する」というチェックボックスがあり、チェックが入っています。送信ボタンは「送信」です。

アプリ版



アプリ版 ログイン画面のスクリーンショット。メールアドレスとパスワードの入力欄があり、パスワード欄には「※パスワードは「●」で表示されます」という注釈があります。ログインボタンは「ログイン」です。

ログイン



アプリ版 マイルート一覧画面のスクリーンショット。マイルート1、マイルート2、マイルート3、マイルート4のリストが表示されています。各マイルートの詳細や設定を確認するためのリンクがあります。

各種設定



アプリ版 マイルート設定画面のスクリーンショット。マイルート設定、アカウント設定、登録情報更新などの項目があります。登録情報更新項目は「登録情報更新」です。

登録情報更新



アプリ版 新規登録画面のスクリーンショット。年齢、性別、利用用途などの入力欄があります。下部には「ONを選択」という指示があり、ONボタンが押されています。登録を進めるボタンは「登録を進める」です。

ONを選択

1. NEXCO西日本 九州支社の高速道路の概要
2. 大雪時の冬期道路交通確保の基本方針
3. 九州支社管内における雪通行止め実績（R6年度）
4. 高速道路の冬期情報提供
- 5. 運輸事業者さまへのお願い**

■ 運輸事業者さまへのお願い（車両滞留の発生の防止）

立ち往生が発生しやすい車両の特徴

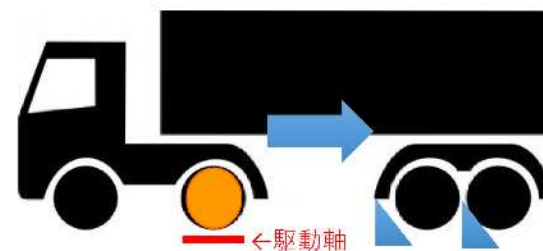
- 以下の特徴をもつ車両は、積雪路等において特に立ち往生が発生しやすい傾向にあるので注意が必要です
- 冬用タイヤは全輪に装着するとともに、積雪時は駆動輪へのタイヤチェーン装着をお願いします

一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない

※発進時等に駆動軸の回転を制御し空転を低減する装置

◆ NEXCO西日本は、冬期の高速道路を安全にご利用頂けるよう、道路交通の確保に全力で努めます。

◆ 加えて、情報発信を積極的に行います。

☞ 運輸事業者様、荷主企業様におかれましては、NEXCO西日本からの各種の情報にご注視をお願いします。

☞ また、特に大雪予測がある際は、NEXCO等から発信される情報に基づき、広域迂回や運行日時の調整等へのご協力をお願いします。

- ◆ **安全確保のため、速度規制や冬用タイヤ規制や通行止めを行う場合があります。**
- ◆ **1台でも事故や自力走行不能車両が発生すると、長時間の通行止めや、長時間の滞留に繋がる可能性があります。**
- ◆ **冬の高速道路は冬用タイヤを装着してご走行をお願い致します。**
- ◆ **タイヤチェーンの常時携行・必要に応じた装着をお願い致します。**

快適なドライブに

ハイウェイ交通情報サイト

無料で
使える

アイハイウェイ
iHighway



＼新機能追加／

スマートフォンの画面に直接通知が届く
「**プッシュ通知機能**」を導入しました



スマートフォンでもPCでもご利用できます。

アイハイウェイ で検索!

<https://ihighway.jp/>

アプリのダウンロードは
こちら

※別途通信料はお客さまのご負担となります。



i-Highwayのユーザー登録様向けに、高速道路の「お知らせ」情報をメールにてお届けします。アプリをダウンロードされた方は、「マイルート」から受信登録をお願いします。

PCから受信をご希望される方は以下のURLから受信登録をお願いします。

<https://ihighway.jp/pcsite/myroute>



道路交通法により走行中のドライバーによる携帯電話の使用は禁止されています。
ご利用は、出発前や休憩施設などの停車中、もしくは同乗者の方による操作をお願いします。





高速道路のドライブに 無料で使える便利な機能が満載



よく利用するルートに登録すると
交通情報がメールで届く！

よく利用する高速道路のルートをおらかじめ登録しておけば、登録したルート(マイルート)の交通状況を確認できます。また通勤時など指定した時刻にお知らせする『定時メール』も便利です。

—— マイルート登録でメールのお知らせが届きます ——



■ 通行止/解除のとき ■ 渋滞を伴う事故発生のとき ■ 大雨が予想されるとき

マイルート登録は簡単！
3ステップ

1. Eメールアドレスとパスワードを登録

2. 仮登録メールのURLをクリック

3. 出発・到着のICを選ぶ



お出かけ先や経由地の
高速道路上の天気を確認！

お出かけ先や経由地の天気予報、台風や大雨警戒情報を確認できます。
※西日本エリアのみのサービスです。

高速道路やSAPAの駐車場の混雑状況を画像で確認！

高速道路本線や、SA・PAの駐車場の混み具合を画像で確認できます。



通行止の解除に向けた作業状況を確認！



通行止区間の作業の状況や解除に向けた状況を確認できます。

乗継ICや料金を確認

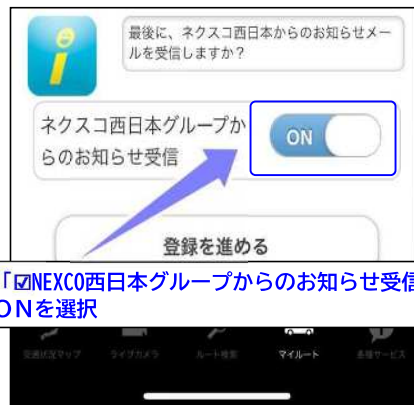
高速道路の料金・経路をお調べできます。所要時間などドライブに役立つ参考情報等もお知らせします。



5分ごとに更新されるマップで
交通状況を確認！



【受信登録方法】



「NEXCO西日本グループからのお知らせ受信」はONを選択

運輸事業における降雪・積雪時の 安全確保について

国土交通省 九州運輸局

国土交通省では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生したことを踏まえ、今冬も、

[1]車両対策

（冬用タイヤの装着、チェーンの装着方法の事前確認、携行及び
早めの装着の徹底）

[2]運送事業者対策

（輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査）

[3]荷主対策

（荷主への周知体制の確立）

を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。



運送事業者及び使用者の皆様へ



雪道での立ち往生に注意！

-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- ❶ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❷ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❸ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

令和2年に発生した、関越道及び北陸道等における、大雪による大型車両の立ち往生により、深刻な交通渋滞や通行止めが発生したことを受け、国土交通省では令和3年2月に大型車を使用するユーザーを対象とした、雪道での立ち往生にかかる注意事項等をまとめたパンフレットを作成しているところです。

資料には、冬用タイヤやチェーンにかかる取扱や、注意事項にかかる資料が掲載されているところです。

また、交通渋滞を引き起こした運送事業者等に対し、監査が行われることなど併せて紹介されております。

冬用タイヤの適切な着用について

冬用タイヤの選び方

- ❑ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- ❑ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレクマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレクマーク
タイヤの側面に表示
されています。

冬用タイヤの使用限度

- ❑ **溝深さが50%以上**残っていることを「**プラットホーム**」で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

左の資料については、当該パンフレットにおける冬用タイヤにかかる紹介部分となっております。

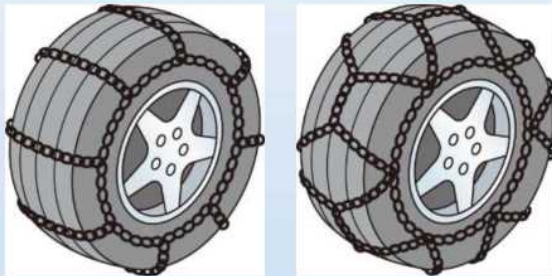
冬用タイヤを示す表示がどのようなものであるか、路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、冬用タイヤを全車輪に装着する必要があること。

冬用タイヤとして性能を発揮するためには、タイヤの残り溝の深さがどの程度必要であるか等紹介されているところです。

冬用タイヤの適切な着用について

チェーンの効果

- ❑ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❑ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❑ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❑ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

性能限界

- ❑ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触するような新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❑ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

左の資料については、当該パンフレットにおけるタイヤチェーンに係る紹介部分となっております。

タイヤにチェーンを装着した場合の効果や、取り付け方法にかかる注意事項が紹介されております。

併せて、相当量の積雪が見込まれる場合においては、チェーンの携行をすることや、降雪時には早めにチェーン装着するよう注意喚起がされているところです。

また、冬用タイヤ・チェーンのいずれも性能限界があり、万能ではないことや、運行前において道路・気象情報を確認し、運行の可否や運行経路の検討を行うよう注意喚起がされているところです。

冬用タイヤの適切な着用について

立ち往生が発生しやすい車両

以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

左の資料については、当該パンフレットにおける車両毎の特性に係る紹介部分となっております。

積雪路等において、特に立ち往生が発生しやすい傾向がある車両等について紹介されているところです。

先に紹介した資料も含め、これらの資料については、下記のURLから確認が可能となっております。

<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/carsafety039.html>

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省
自動車局 審査・リコール課



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和7年10月1日
物流・自動車局
自動車整備課

冬用タイヤ交換時には確実な作業の実施をお願いします！

大型車の冬用タイヤへの交換時期に車輪の脱落事故が増加する傾向を踏まえ、タイヤ脱着時の確実な作業及び保守管理の徹底を呼びかける「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施します。

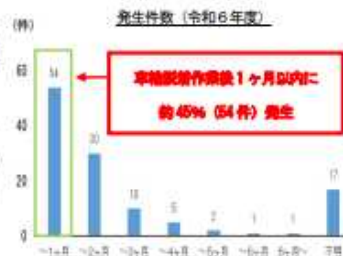
令和4年2月に設置された「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」において、大型車の車輪脱落事故事例について調査、分析を行い、同年12月に中間とりまとめを公表しました。調査結果から、事故車両の多くにタイヤ脱着作業時のワッシャ付きホイール・ナットの点検、さび取り清掃や各部位への潤滑剤の塗布、さらにはホイール・ナットが円滑に回るかの確認が不十分である等、適切なタイヤ脱着作業やタイヤ脱着作業後の増し締めが実施されていないなどの問題点が確認されており、昨年度においても引き続き同様の事例が確認されています。

こうした状況を踏まえ、令和7年10月から令和8年2月にかけて「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施します。

【主な取り組み】

- 適切なタイヤ脱着作業や保守管理の徹底を周知
- 不適切な脱着作業を防ぐため、余裕を持って正しい脱着作業を行えるよう、冬用タイヤ交換作業の平準化を推進
- 車輪脱落予兆検知装置について普及促進（国からの補助を最大5万円受けることができます。）
- 以上3点について、降雪地域だけでなく、全国に周知啓発活動を展開

車輪脱着作業から車輪脱落事故までの期間別



＜添付資料＞

別添1：車輪脱落事故発生状況

別添2：大型車の車輪脱落事故防止のための啓発チラシ

別添3：ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意！

啓発チラシ

別添4：車輪脱落予兆検知装置のご案内チラシ

＜問い合わせ先＞

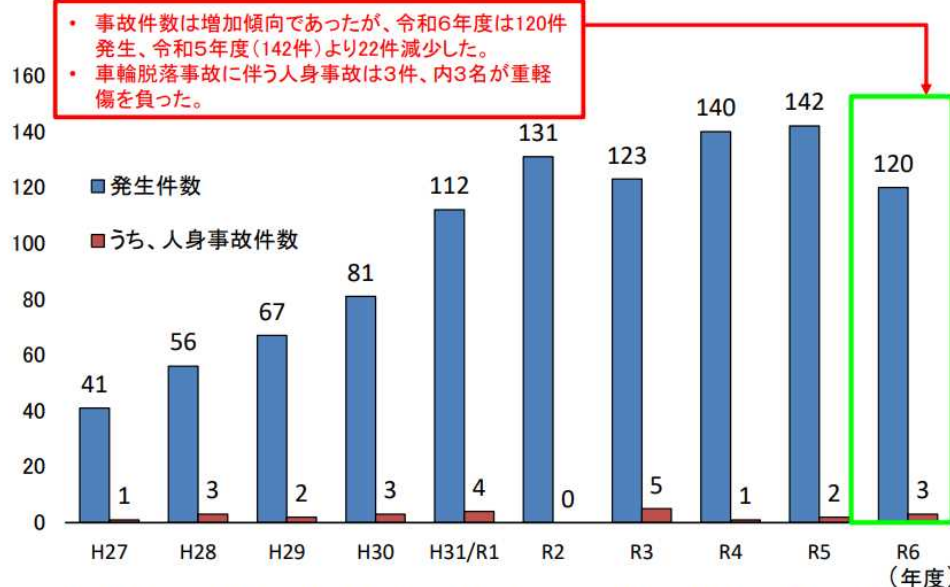
物流・自動車局自動車整備課 松井、坂本
代表：03-5253-8111（内線：42413）
直通：03-5253-8599

大型車の車輪脱落事故の発生件数について年々増加傾向にあり、特に大型車の冬用タイヤへの交換時期において、大型車の車輪脱落事故が急増する傾向にあることから、タイヤ脱着時における確実な作業の徹底を呼びかけるため、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」などが行われているところです。

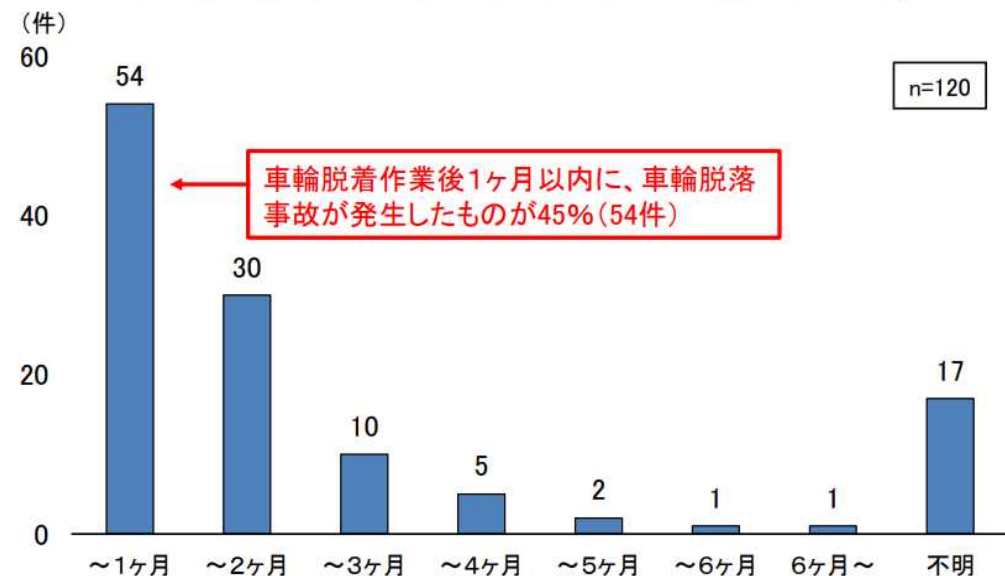
また、更なる車輪脱落事故防止対策として、令和5年10月1日より大型車の車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者に対する行政処分制度が新たに導入されております。

令和6年度の大型車の車輪脱落事故発生状況について

(件) 年度別の大型車の車輪脱落事故の発生件数(過去10年間)



車輪脱着作業から車輪脱落事故発生までの期間(令和6年度)



出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

大型車の車輪脱落事故の発生件数は増加傾向でしたが、令和6年度につきましては120件の車輪脱落事故の発生が確認されております。

前年度の発生件数と比べると22件減少していますが、車輪脱落事故に伴う人身事故は3件発生しており、うち3名が重軽傷を負っています。

また、車輪脱着作業から車輪脱落事故発生までの期間については、車輪脱着作業から1ヶ月以内に発生したものが全体の半数近くとなっております。

車輪脱落事故の防止のためにも、車輪脱着作業後50km～100km走行後における、ホイールナットの増し締めを確実に実施していただきますようお願いいたします。

事故車両調査により確認された各部品の劣化・損傷事例

潤滑剤が塗布されていない



ホイール・ナットが滑らかに回転せず、油分が付着していなかった。

締め付け不良・潤滑剤が塗布されていない



ホイール・ボルトのねじ部がディスク・ホイールとの干渉により損傷。また、油分が付着していなかった。

ディスク・ホイールやハブの錆び



ディスク・ホイールの表面全体が錆びている。



ハブのディスク・ホイール当たり面に錆が付着。

- 令和6年度に発生した車輪脱落事故車両120台のうち98台に対して、各部品に劣化・損傷状態や、タイヤ脱着作業の実施状況を確認する事故車両調査を実施した。
 - 事故車両調査の結果、
 - ・ホイール・ナットとワッシャのすき間に潤滑剤の塗布が見られず、ホイール・ナットとワッシャがスムーズに回転しないものや、ワッシャが固着しているもの
 - ・ホイール・ボルトやナットに著しいさびがあるものや、ゴミ等の異物が付着しているもの
 - ・ディスク・ホイールやハブ等に著しいさびがあるもの
- 等、適切なタイヤ脱着作業が実施されていない車両が確認された。

おとさない

おとさぬための点検整備

事前の正しい点検や大きな事故も未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

まだ使える!!

もうおぶ台です

さびたナットは清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当り7面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。

いちにち一度はゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触りながら点検します。

トルクレンチで適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

ナット・ワッシャー隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させず油をなじませてください。

これまでスローガンについては、「お・ち・な・い」とされていたところですが、近年における車輪脱落事故の発生要因などを踏まえ、令和5年度より「お・と・さ・な・い」に改められているところです。



皆さん、ご存知でしたか？

大型車の車輪脱落事故の多くが、冬場、安全に走るためのタイヤ交換後に発生しているということ。

タイヤ交換時には、部品の錆や汚れをきちんと点検し、増し締めをしっかりと行うなど、適切に取り付けてください。

確実な点検・整備で、防げる事故があります。

「昨日も大丈夫だったから今日も大丈夫。」

その軽い気持ちで命を奪う

防ごう！大型車の車輪脱落事故 点検しよう！出発前の車両の安全

また、国土交通省においても車輪脱落事故発生防止にかかる啓発ポスターを作成し、事故防止に掛かる啓発活動を行っているところです。

国土交通省のHPでは、先にご紹介させていただいた啓発資料のほか、車輪脱落事故の発生状況にかかる資料及びその発生原因、車輪脱落事故防止対策にかかる資料などが掲載されているところです。

その他にも、大型車の車輪脱着作業の手順などを示す動画などを確認することが出来ます。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha/tenkenseibi/tenken/t2/t2-1/>

国自整第166号の2
令和5年12月4日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省物流・自動車局
自動車整備課長
(公印省略)

大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検の実施について（依頼）

大型車の車輪脱落事故防止については、本年も「令和5年度緊急対策」として10月から令和6年2月末を重点的に取り組んでいるところですが、12月1日、午後3時50分頃、青森県八戸自動車道下り線において、走行中の大型トラックから左後輪のタイヤが脱落し、道路保全工事を行っていた作業員に衝突、1名が死亡、1名が軽傷を負う事故が発生した。また、11月30日、島根県の国道においても大型トラックから脱落したタイヤが歩行者に衝突し、当該歩行者が重傷を負う事故が発生しました。

本件事故については、事業者からの報告によると、ともに冬用タイヤ交換後間もなく発生したとの情報がございます。

つきましては、別紙のとおり各地方運輸局等あてにトラック運送事業者に対して、保有車両のホイール・ナットの緩みの確認及びタイヤ脱着作業後の増し締めが確実にされているかについて一斉点検を実施させるとともに、改めてタイヤ脱着作業や保守管理を適切に行うよう指示したことから、本件実施についてご協力方よろしく申し上げます。

また、令和5年11月30日及び12月1日に発生した、大型車の車輪脱落事故を受け、令和5年12月4日付けで、全日本トラック協会及び地方運輸局に対し、「大型車の車輪脱落事故防止に係る一斉点検を実施について（依頼）」という通達が発出されているところです。

大型車を保有されている事業者様にあつては、保有されている車両についてホイール・ナットの緩みが無いことの確認や、タイヤ脱着作業後の増し締めが確実にされているか一斉点検を実施いただくとともに、タイヤ脱着作業や保守管理を適切に行って頂くようお願いいたします。

同種事故の再発防止のためにも、確実に取り組んで頂きますようお願いいたします。

国自安第 127 号
令和 6 年 12 月 11 日

一般社団法人公営交通事業協会会長 殿

国土交通省
物流・自動車局 安全政策課長
(公印省略)

バスの安全運行の徹底について

令和 6 年 12 月 9 日（月）午前 9 時 43 分頃、岡山県真庭市の市道において、乗客 43 名、運転者 1 名及び添乗員 1 名を乗せた貸切バスが、雪道でスリップし道路左側の路外に逸脱し横転したことにより、乗客 2 名が重傷、9 名が軽傷となる事故が発生しました。

事故原因は調査中ですが、当該事故は、運行経路であった高速道路が通行止めとなり、運転者は、運行管理者の指示を受けることなく自らの判断で運行経路を変更したことに加え、道を間違えたことで積雪がある狭隘路に入ってしまったことにより、発生したものです。

また、令和 6 年 12 月 9 日（月）午後 2 時 00 分ごろ、北海道富良野市の国道において、乗客 33 名、運転者 1 名を乗せた貸切バスの左後輪タイヤ 2 本が脱落する事故が発生しました。

事故原因は調査中ですが、自社において実施したスタッドレスタイヤへの交換作業時にトルクレンチを使用していないこと、一定距離走行後の増し締めを行っていないこと等、不適切な作業が原因であった可能性が考えられます。

年末年始の多客期及び降雪期を迎えるに当たり、下記について、会員事業者周知徹底するとともに、輸送の安全確保に努めて頂くようよろしくお願いします。

記

- (1) 運行指示書と異なる運行を行う場合には、運行管理者の指示に基づいて行うよう指導すること。
- (2) 運行経路の気象情報及び道路規制情報を踏まえ、輸送の安全を確保するための運行可否の決定や運行経路の変更を行うこと。
- (3) スタッドレスタイヤの装着やタイヤチェーンの携行等、冬道走行への備えを万全にすること。
- (4) タイヤの脱落を防止するため、スタッドレスタイヤへ交換する際には、適切な脱着作業及び保守管理を確実にすること。
- (5) 乗客にシートベルトの着用を促すとともに、着用状況を確認すること。
- (6) 令和 6 年 10 月 1 日付け「令和 6 年度 年末年始の輸送等に関する安全総点検実施計画（自動車交通関係）」に基づき、安全総点検を実施すること。

また、令和 6 年 12 月 9 日の午前、午後で発生した、貸切バスの雪道でのスリップ事故、車輪脱落事故を受け、令和 6 年 12 月 11 日付けで、公益社団法人日本バス協会及び地方運輸局に対し、「バスの安全運行の徹底について」という通達が発出されているところです。

大型車を保有されている事業者様にあつては、運行経路の気象情報及び道路規制情報を踏まえ、輸送の安全を確保するための運行可否の決定や運行経路の変更を行うとともに、事前にスタッドレスタイヤの装着やタイヤチェーンの携行等、冬道走行への備えを万全に行っていただくようお願いいたします。

同種事故の再発防止のためにも、確実に取り組んで頂きますようお願いいたします。

突発的な異常気象等における、貨物運送の運行経路の変更や運行中止等の判断へは、荷主の理解が不可欠であるため、荷主所管省庁である経済産業省や農林水産省と連携し、荷主に対して右記の周知や要請を行っている。



1. 季節的な周知・要請

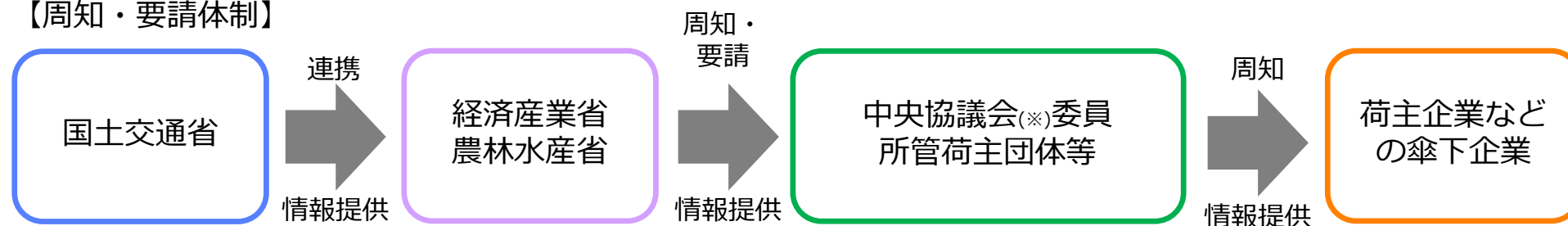
○降積雪期や出水期を迎える前に、降積雪期等における注意事項に関する文書を発出。

2. 緊急的な周知・要請

①大雪や大雨などの警報を超える異常気象の予測に基づき、気象庁が行う緊急発表、高速道路・幹線国道の通行止め情報は、関係省庁を經由して荷主団体等へ情報提供を実施し、運行経路の変更、運行の中止等を認めるなど柔軟な対応を要請。

②予め運送に支障を来することが予想される場合は、在庫の積み増しや、運行可能域内で物資の融通を行うよう要請。

【周知・要請体制】



※運送事業者や荷主団体（経団連や日商など）、関係省庁等により構成され、主に自動車局貨物課が運営する会議体

【R3. 1. 28 降積雪期】

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 あて

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

【R3. 5. 25 梅雨期・台風期】

事務連絡
令和3年5月25日

荷主関係団体等 あて

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

梅雨期及び台風期における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運行時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雨や暴風などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行経路の変更や運行の中止等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、例年、梅雨期及び台風期においては、各地で局地的大雨や集中豪雨が発生しており、人命の保護を第一義として、荷主のご理解とご協力を得ながら梅雨期及び台風期における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雨や暴風などの異常気象による突発的な事象により、運行経路の変更や運行の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運行経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雨や暴風などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運行可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちとくらしをまもる
防災減災

Press Release

令和7年11月20日
物流・自動車局
貨物流通事業課
安全政策課
審査・リコール課
自動車整備課

物流・自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について ～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

物流・自動車局では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生したことを踏まえ、今冬も、①車両対策（冬用タイヤの装着、チェーンの装着方法の事前確認、携行及び早めの装着の徹底）、②運送事業者対策（輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査）、③荷主対策（荷主への周知体制の確立）を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようお願いいたします。

① 車両対策：自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- チェーンの装着方法の事前確認、携行及び立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② 運送事業者対策：トラック・バス事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検[※]の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
- 運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
- 雪道において、悪質な立ち往生事案が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。

※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_0000003.html

③ 荷主対策：荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止など

の必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。

- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者に対する急ぎの運送依頼を控えていただくをお願いします。

（その他）気象情報の活用

- 気象庁 HP の「今後の雪」も活用うえで、事前に天気予報をご確認ください。
<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

【添付資料】

- ・【別紙1】『雪道での立ち往生に注意！』（パンフレット）
- ・【別紙2】『冬用タイヤの溝深さに注意！』（チラシ）

【お問い合わせ先】

（①関係）

審査・リコール課 舘戸、田中
代表：03-5253-8111（内線：42354）
直通：03-5253-8597
自動車整備課 松井、坂本
代表：03-5253-8111（内線：42413）
直通：03-5253-8599

（②関係）

安全政策課 本田、山本
代表：03-5253-8111（内線：41615）
直通：03-5253-8565

（③関係）

貨物流通事業課 篠塚、高橋、樹井
代表：03-5253-8111（内線：41332）
直通：03-5253-8575

運輸防災マネジメントについて

令和7年12月12日

九州運輸局 総務部 安全防災・危機管理課

はじめに

大規模自然災害が発生した場合、阪神・淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）、令和6年能登半島地震（2024年）の例を見るまでもなく、国、地方公共団体、運輸事業者等が連携し、被災者への緊急支援物資輸送や不通となった鉄道等の代替輸送等を確保することが求められています。

降雪期における雪害対応についても、関係機関が連携し、立ち往生した車両（列車）内のドライバーや旅客等の避難、救助、救護に向けた支援等を実施する必要があります。

そのため、本資料は、運輸事業者及び地方公共団体の防災担当者の方々を対象とし、過去の雪害等から見えてきた課題対応について、関係する法令や他社事例等も含め、マネジメントを行う観点から作成しています。今後の雪害対応の一助となれば幸いです。

目 次

1. 頻発化、激甚化する自然災害
 - ✓平成28年の大雪
 - ✓被災経験から得られた課題と対応
2. 運輸防災マネジメントのポイント
 - ✓経営トップの責務
 - ✓安全方針と防災の基本方針
 - ✓リスク評価
 - ✓事前の備え
 - ✓関係者との連携
3. その他のポイント
 - ✓他事例からの学び
 - ✓参考情報

1. 頻発化、激甚化する自然災害
 - ✓雪害の発生と被害状況
 - ✓被災経験から得られた課題と対応
2. 運輸防災マネジメントのポイント
 - ✓経営トップの責務
 - ✓安全方針と防災の基本方針
 - ✓リスク評価
 - ✓事前の備え
 - ✓関係者との連携
3. その他のポイント
 - ✓他事例からの学び
 - ✓参考情報

運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン 令和5年6月

検索



平成28年の大雪

1. 気象概況

- ・ 1月23日から25日にかけて強い冬型の気圧配置となり、九州北部地方の約1500メートル上空には氷点下15度以下の寒気が流れ込んだ。
- ・ 佐賀市、長崎市で真冬日を記録（真冬日：日最高気温が0℃未満の日。）
- ・ 鹿児島県伊佐市大口で観測史上最低の-15.2度を観測
- ・ 鹿児島市：-5.3℃、福岡市で-4.0℃
- ・ 奄美大島名瀬で115年ぶりに降雪
- ・ 沖縄本島の名護で観測史上初の初雪

2. 交通への影響

- ・ 九州道では、1月24日～26日にかけて、福岡IC～広川IC間で約63時間の通行止め。
- ・ 国道3号・国道34号等においても、約60kmを超える大規模な交通渋滞が発生。
→高速バス・路線バス運休
- ・ 山間部を中心に鉄道も運休
（JR九州・松浦鉄道・島原鉄道・平成筑豊鉄道・甘木鉄道）
- ・ 船も運休
（最大風速：鹿児島県 屋久島 20.8m/s）



被災経験から得られた課題と対応

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な立ち往生に伴うドライバーや旅客の車内滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ①的確な気象情報・道路情報を把握する必要性
- ②上記①を踏まえた、**安全最優先の運行(航)計画**（中止又は広域迂回）について、然るべき判断を行うことの重要性
- ③立ち往生等が発生した場合におけるドライバーや旅客等の避難、救助、救護に向けた**運輸事業者と国、地方公共団体との連携の重要性**
- ④雪に対する事前の備えの必要性

2. 雪害への対応ポイント

- ①降雪・積雪の**予測はある程度可能**。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための**迅速な判断と対応が極めて重要**
- ②雪崩、融雪による河川の増水に伴う**二次災害にも十分な注意**が必要
- ③旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、**旅客・荷主等に前広に周知**
- ④**国・地方自治体・関係機関との連絡を密**にし、車内等に滞留するドライバーや旅客等の**避難・救助・救護に向けた支援体制を構築**しておくことが重要
- ⑤トラック等の場合、突発的な大雪に備え、**適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料**などの備えも大切

被災経験から得られた課題と対応

1. 課題の顕在化

近年、従前の被害想定を上回る自然災害により、安全・安定輸送に関わる多くの課題が顕在化。

2. 課題の内容

これらの近年の事例からは、ハード面の強化だけではなく、自然災害発生の前後でのソフト面の対応の重要性が明確になった。

令和2年7月6日に「**運輸防災マネジメント指針**」を策定・公表し、「**運輸安全マネジメント制度**」を「**自然災害対応**」に活用することを促進している。

運輸防災マネジメント指針



「**災害対策基本法**」に作成することが義務づけられている各種計画に基づき、**国、地方公共団体、運輸事業者等が連携**し、迅速かつ効果的に対応できる体制を構築し、機能させることが求められている。

内閣府 災害対策基本法



運輸防災マネジメント指針の目的と事業継続の必要性

1. 運輸防災マネジメント指針の目的

国民生活や社会経済活動の維持に大きな役割を担う運輸事業者には、以下の ①、②が期待され、自然災害への的確で柔軟な対応力の向上が求められている。

①被害の軽減、拡大防止

発災時においてもできるだけ被害を軽減し、被害の拡大防止を図ること

②事業継続（BCP：Business Continuity Plan）

業務活動の維持や早期回復を図ること

2. 事業継続の必要性

運輸事業は、国民生活と国民経済を支える重要インフラとして、発災時においても、

① 物流：必要な物資の輸送・緊急支援物資輸送、②人流：通勤・通学、避難・支援輸送として、その機能を維持することが求められる。

3. 重要な留意点

人命の確保、輸送の安全を確保することが最優先事項。運輸事業者には、人命の確保、輸送の安全が確保された後、必要な輸送の継続を図ることが期待される。

1. 頻発化、激甚化する自然災害
 - ✓雪害の発生と被害状況
 - ✓被災経験から得られた課題と対応
2. 運輸防災マネジメントのポイント
 - ✓経営トップの責務
 - ✓安全方針と防災の基本方針
 - ✓リスク評価
 - ✓事前の備え
 - ✓関係者との連携
3. その他のポイント
 - ✓他事例からの学び
 - ✓参考情報

運輸防災マネジメントのポイント

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の備え

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除 (思い込み (バイアス) の排除)

(9) 関係者との連携

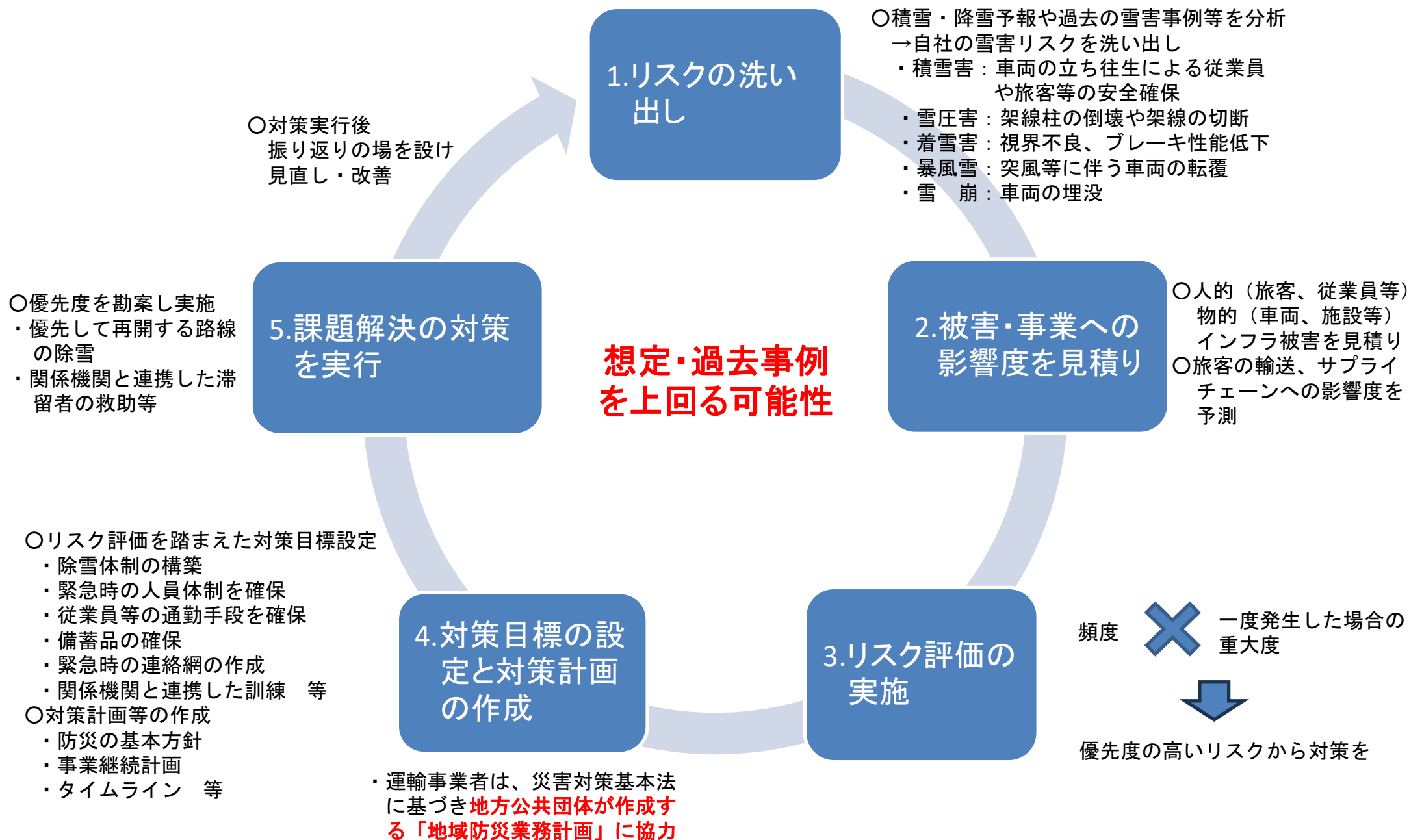
(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善 (他事例の学び)

赤字に絞って説明

運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ①自然災害に対する備えや発災直後の対応は、危機管理そのものであり、トップダウンで対応する体制が必要
- ②災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示

2. 経営判断

- ①事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要
- ②例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要

大規模な雪害発生時には経営トップの判断が必要

①予測可能な雪害

一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断が必要

判断できる情報を即時に受け取れる体制・仕組み（災害対策本部の設置等）が必要

②被災時の復旧に向けた経営資源の選択と集中

現場は自分の持ち場に集中 → 経営トップは全体を俯瞰して、**優先する現場、後回しにする現場の判断**が必要

非常時の体制

3. 非常時の体制

1) 発生直後の緊急対応（人命最優先、緊急参集）

- ①経営トップを本部長とする災害対策本部の立ち上げ
- ②人命最優先の考えから、運行継続の可否判断、旅客・社員職員の安否確認を行う初動対応が最優先
- ③本社、現場の被害状況、社会インフラ、今後の気象情報等を情報収集
- ④旅客・荷主への情報提供
- ⑤通信手段による経営トップからの指示により災害対策本部の設置等を判断すれば、予め準備している対応手順が発動、手順に示した行動が可能

2) 緊急対応がある程度収束した後の対応




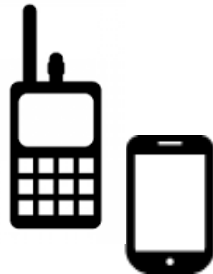
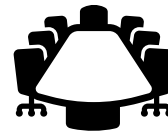
- ①輸送、災害拠点の復旧・再開のため被害状況確認、事業継続のために必要な情報収集
- ②事業継続の判断の場合「重要な輸送業務を優先する判断」とは、「当面、復旧を見合わせる輸送業務の判断」の裏返しで、経営トップ以外では事前に方向性を定めていないと判断困難
- ③災害拠点の復旧活動、運行（運航）再開の判断
- ④以下を事前に決めておき、本社、事業拠点毎に担当と手順を記載した「発災時の業務担当一覧表」を作成しておくことで円滑な業務が可能。
 - ・被害状況について具体的に確認すべき事項
 - ・確認の方法（いつ、だれが、だれに、どうやって）

緊急参集時に留意すべき点

3) 緊急参集に関する留意すべき点

経営トップは、非常時には被害の軽減・拡大防止のため、速やかに本社（状況によっては第二拠点）に参集することが必要。

被災により交通及び通信が断絶するおそれがあり、**経営トップが全社に指示を発出する体制をとることができないリスク**が存在。以下のような対策が必要。

<p>①経営トップの代理者の指定</p>  <p>経営トップが参集できない場合を想定し、予め<u>代理者を指定</u></p>	<p>②社外からの参加</p>  <p><u>社外からも参画</u>できるよう<u>ICTを活用</u></p>	<p>③至近のホテル等への宿泊</p>  <p>大雪被害が予想される場合は<u>予め至近のホテル等に宿泊</u></p>	<p>④通信手段の代替化</p>  <p>通信手段は<u>代替的なものを含め複数用意</u></p>	<p>⑤緊急参集基準の設定</p>  <p>連絡なくとも<u>緊急参集する基準の設定</u>（例：本社・支店所在地等で震度6強）</p>
--	---	--	---	---

- ①自然災害は、**直後の初動対応**が被害拡大防止のために非常に重要
- ②発災時に最も重要なことは**迅速な対応**。時間が経てば経つほど、被害もダメージも大きくなり、事業の早期回復も困難になる。
- ③迅速な初動対応により、旅客、社員・職員の安全確保が出来れば、その後の事業の**早期回復・継続**に速やかにつなげることができる。

(2) 防災の基本方針

(2) 防災の基本方針

1. 安全方針への自然災害対応の追加

ガイドラインには、運輸事業者には輸送の安全確保に関する基本理念として、「安全方針」を策定することを推奨しており、安全方針に自然災害対応を組み込むか、別途定め、自社内外に周知することを推奨

安全方針には、輸送の安全の確保を的確に図るために、少なくとも次に掲げる事項の趣旨を盛り込むものとする。

①安全最優先の原則

②関係法令等の遵守

③安全管理体制の継続的改善等の実施

なお、事故、自然災害等が発生した際の行動理念として**人命最優先の原則**の趣旨を**安全方針**、又は事故、自然災害等への対応に係る**社内規則・ルール**等に盛り込むものとする。

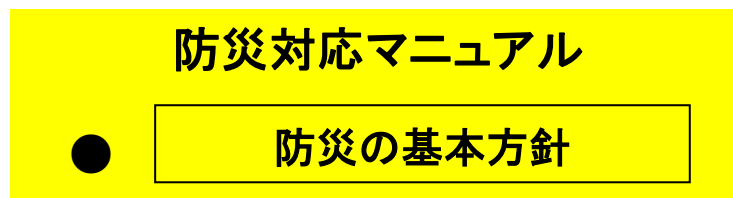
また、社員・職員等にその内容を理解させ、実践することができるよう、できるだけ簡明な内容とする。

2. 安全・防災の風土・文化の構築

防災は、輸送の安全確保に不可欠な要素であるが、いざというとき大切なのは、**頭と体が直ちに反応するよう、必要な対応を社員・職員が各自で身につけておくこと。**そのためには、経営トップが、統一的に、事業者の意思及び方向性を職場内外に明確に示して、社員・職員に内容を十分理解させ、**事業者等の風土・文化として定着**させることが重要

【参考】安全方針と防災の基本方針

その1



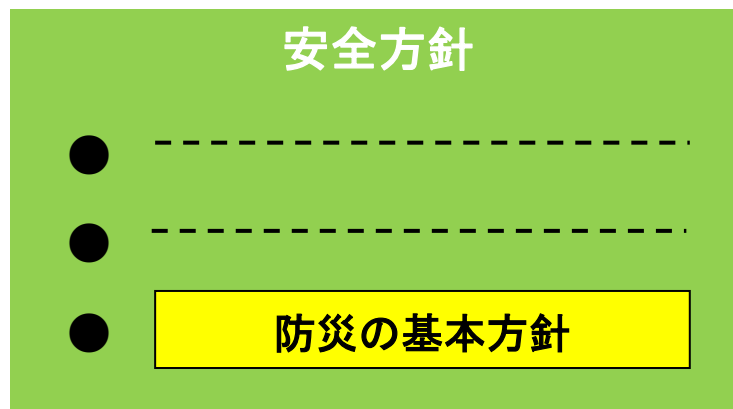
形式は事業者が判断して決定



社員・職員への浸透度合いを定期的に確認



その2



★最終目標

社員・職員の一人ひとりが方針に則り行動できること

【参考】社内規則・ルールに盛り込む場合の例示

例1. 自然災害の発生時には、利用者、社員・職員、関係者の安全確保を最優先とし、〇〇駅、〇〇駅、〇〇駅発着の主要路線の運行業務を維持する。

例2. 自然災害による被害発生時には、安全を最優先とし、従業員の安全確保と事業資産の保護を図り、事業の早期復旧とサプライチェーンへの影響の最小化に取組み、荷主及び関係企業との連携強化と信頼確保に努め、緊急救援物資輸送など社会的使命を果たすことを基本方針とする。そのため、事業継続のための体制、具体的な対策及び仕組みを、事業継続計画(BCP)として策定して発災時の運用規定とする。

例3. 弊社の自然災害発生時の基本方針は、安全最優先とした上で、次に掲げるとおりとする。

- (1) 社員とその家族等の安全確保、航空機の安全確保を第一とする。
- (2) 国、地方等の機関と連携して共同対処により実効性を確保する。
- (3) 運航一時休止の場合、早期再開に向け会社の重要機能・重要業務の維持・継続を図り、機能の損失等があった場合にはその早期復旧に努める。

【参考】安全方針に盛り込む場合の例示

事例：JR東日本の安全綱領

(1) 安全綱領

安全に関わる社員の行動規範として安全綱領を、2012年3月に改正しました。これまでの多くの経験や東日本大震災での対応を踏まえ、「異常時は、まず冷静になってから選択肢を並べ、最善の行動を選択する」という趣旨と、JR東日本の安全推進の基本的な考えである「自ら考え行動する」という趣旨を反映することとし、第5項に「あわてず、自ら考えて、」という表現を加えました。

- 1.安全は輸送業務の最大の使命である。
- 2.安全の確保は、規程の遵守及び執務の厳正から始まり、不断の修練によって築きあげられる。
- 3.確認の励行と連絡の徹底は、安全の確保に最も大切である。
- 4.安全の確保のためには、職責をこえて一致協力しなければならない。
- 5.疑わしいときは、あわてず、自ら考えて、最も安全と認められるみちを 採らなければならない。

冷静な対応に向けた取組 事例（トラック事業者）

自動車モード（トラック）＜西濃運輸株式会社＞

概要 取組事例 緊急時対応ボックスの作成

平成7年1月の阪神淡路大震災の経験から、災害発生時には即座に被害軽減のための対応を行わないと間に合わないこと、また既存の文書に対応を記載しても忘れてしまうことを学んでいる。

このため、災害発生時に行うべきことをわかりやすく記載したカードを収納する緊急時対応ボックス（通称**マル緊BOX**、下記画像を参照）を作成し、すぐに取り出しを可能とするため、店所長席の後方（キャビネットの上など）に保管している。

【マル緊BOXの内容】

（１）災害時対応項目カード

発災時の時に対応すべきことを時系列に「最優先確認事項」、「ライフラインの関係」、「事業継続関係」の順番にカード化し、災害時に各担当者にこのカードを渡して容易且つ迅速に対応する仕組みを構築

（２）災害用ベンダー（自販機）の鍵

発災時の飲料水確保のため、マル緊BOXに災害用ベンダー機能がある飲料用自販機を開錠するための鍵を保管。

取組の効果

平成30年7月の西日本豪雨の際、店所長がマル緊BOXから風水害に係るカードを担当者に振り分け対応したが、落ちていて行動することができた。



(3) リスク評価

(3) リスク評価

リスクを正しく評価することが防災の第一歩。遭遇する懸念のある自然災害の種別と程度を把握、リスク評価を行った上で、事前の備えから事後の対応までの対策を実施

☞ 雪害に関しては、積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の積雪の深さと降雪量の分布、及び6時間先までの予測 等
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・路線等サイト設置カメラからの情報等

【留意すべき点】

①実践的で簡潔な計画

被害想定を細かく見積ると、多数の計画を詳細に作ることになるため、実践的で簡潔な計画が望まれる

②楽観主義の排除

自然災害は必ず起きる、いつ被災しても不思議でないと心得ること

「ウチは大丈夫」「今回も大丈夫」との根拠なき楽観主義を排すること

雪害対応のタイミングをはかる情報

早期注意情報（警報級の可能性）

- ・ 警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として〔高〕、〔中〕の2段階で発表しています。
- ・ 警報級の現象は、ひとたび発生すると命に危険が及ぶなど社会的影響が大きいいため、可能性が高いことを表す〔高〕だけでなく、可能性が高くはないが一定程度認められることを表す〔中〕も発表しています。

新潟県中越の早期注意情報(警報級の可能性)

新潟県中越		12/28 11:00発表					12/28 11:00発表			
種別		28日		29日			30日	31日	1日	2日
		夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く						
		12-18	18-24	0-6	6-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	1時間最大雨量 (ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下				
	3時間最大雨量 (ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下				
	24時間最大雨量 (ミリ)			50以下						
大雪	警報級の可能性	-	-	-			[中]	[高]	[高]	[中]
	6時間最大降雪量 (センチ)	0	0	0	0	0				
	24時間最大降雪量 (センチ)			0						
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-	-			[中]	[中]	[中]	-
	陸上 最大風速 (メートル)	9以下	9以下	9以下	9以下	10				
	海上 最大風速 (メートル)	10	10	9以下	9以下	14				
波浪	警報級の可能性	-	-	-			-	-	-	-
	波高 (メートル)	1.5	1	1	1	1.5				

新潟県中越の早期注意情報(警報級の可能性)

新潟県中越		12/25 11:00発表					12/25 11:00発表			
種別		25日		26日			27日	28日	29日	30日
		夕方まで	夜～明け方	朝～夜遅く						
		12-18	18-24	0-6	6-12	12-24				
大雨	警報級の可能性	-	-		-		-	-	-	-
	1時間最大雨量 (ミリ)	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下				
	3時間最大雨量 (ミリ)	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下				
	24時間最大雨量 (ミリ)			50から100						
大雪	警報級の可能性	-	-		-		-	-	-	[中]
	6時間最大降雪量 (センチ)	20	20	20	20	15				
	24時間最大降雪量 (センチ)			30から50						
暴風(暴風雪)	警報級の可能性	-	-		-		-	-	-	[中]
	陸上 最大風速 (メートル)	9以下	10	10	9以下	10				
	海上 最大風速 (メートル)	13	15	15	12	12				
波浪	警報級の可能性	-	-		-		-	-	-	-
	波高 (メートル)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5				

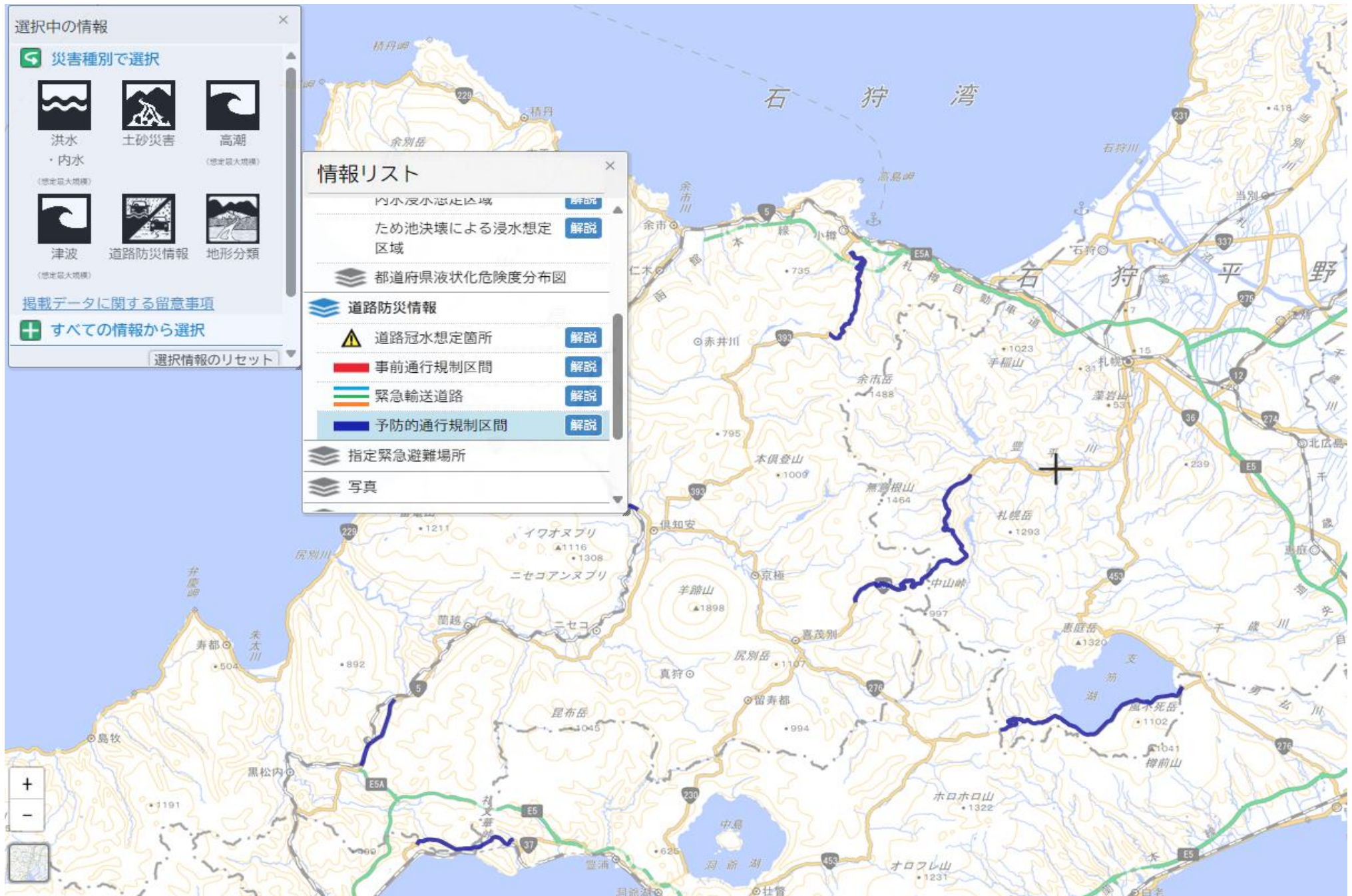
気象庁 早期注意情報

検索







(出典)気象庁

予防的通行規制区間に関する情報を事前に確認



【参考】自然災害リスク評価の手順

- ① 自然災害対応に関する取組を進める前に、まず、自社の取組の現状、自然災害に対する脆弱性(弱点)を把握する必要があります。

- ② まず、事業を展開する中、輸送の安全を確保する上で、どのような自然災害に遭遇する恐れがあるかを想定する必要があります。

- ③ そのためには、国や地方自治体が公表しているハザードマップ、過去の被災経験等から、どのような自然災害(種類、程度)のハザード(脅威)が潜んでいるか、本社及び各営業所並びに運行(航)エリアなど、事業を展開する範囲を対象に把握する必要があります。

- ④ 上記③の結果を踏まえ、次にそのハザードによりどの程度の被害(人的、物的、社会インフラ)が想定されるか、事業にどのような影響を及ぼすかについて、考察します。

- ⑤ 上記④の結果について、ハード面、ソフト面の両面から、どのような対策を講じるのが最適であるか、費用面、容易さ、リスクの大きさと発生頻度等を総合的に勘案して、何が現実的な対策かを見極めることが重要です。

【参考】自然災害リスク評価の対応状況総括表

会社全体（本社・各営業所、運行エリア）のすべての自然災害を対象としたリスク評価と対応状況を総括表に纏め、現状を把握。今後の対応については、例えば、中長期計画などに纏める。

拠点毎のリスクと事前の備えの見える化

※総括表は網羅的なものではない。

拠点	自然災害リスク					事前の備え							
	地震	津波	液状化	浸水	雪	耐震基準	非常電源	予備燃料	情報冗長	代替通信	止水対策	避難場所	雪対策
本社	大	小	小	大	小	○	○	○	○	○	○	○	○
営A	大	大	大	小	小	○	×	△	○	○	○	○	○
運行エリア	大	大	大	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—
営B	大	中	中	大	大	○	○	○	○	×	×	○	○
運行エリア	大	中	中	中	大	—	—	—	—	—	—	—	—
営C	大	中	小	中	中	○	×	△	○	○	○	○	○
運行エリア	大	小	小	大	中	—	—	—	—	—	—	—	—
営D	中	小	大	中	大	○	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	中	小	大	大	大	—	—	—	—	—	—	—	—
営E	大	小	小	大	小	×	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	大	大	小	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—
営F	大	大	小	小	小	×	×	△	○	×	×	○	○
運行エリア	大	大	小	小	小	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 事前の備え

(4) 事前の備え

自然災害対応については、平時からの「備え」が必要不可欠である。

①計画的装備

リスク評価による最大被害を基に事前準備のレベルと内容を検討。
防災品、燃料、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、非常電源の配備等を計画的に実施。

②緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは常時最新のものを入力。
複数の通信・連絡手段の確保。

③防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的。

④事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、自然災害対応のタイムラインを設定、局面毎のリスク評価実施。

雪害に備えた計画的装備について

①計画的装備

運輸事業者は、立ち往生車両等による大規模な渋滞が発生した場合に備え、非常食や飲料水、防寒着等は、**計画的に装備**しておく必要があります。

①雪道への備え

- ✓ 冬用タイヤへの交換
- ✓ チェーン(チェーン規制等のため)の携行



- ✓ 冬用ワイパーへの交換
- ✓ こまめな給油
- ✓ 十分な車間距離の確保
- ✓ 時間にゆとりのある運行計画

②スタックした場合の脱出のための備え

- ✓ スコップ、長靴、防寒着、毛布、砂、脱出マット、懐中電灯、スノーブラシ等



③万が一の滞留のための備え

- ✓ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



地方公共団体等は、立ち往生車両に滞留するドライバーや旅客の救助や支援に備え、避難所等の開設、移動手段の確保、水や食料等の配布等を**事前に準備**

【参考】燃料の確保について

事前の備えとして、**燃料の確保及び安定供給**が重要。あるバス会社の事例

被災前

◆社用車



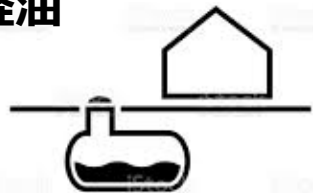
マイクロバス(軽油)



ワゴン車(ガソリン)

◆地下燃料タンク

→ 軽油



★社員の通勤手段

→ ガソリン



被災直後

ガソリンが入手困難な状況がしばらくの間続いた。



地下燃料タンクの軽油を使用してマイクロバスで**運転士を送迎**！



被災後

◆社用車 **ディーゼル車へ統一**



マイクロバス(軽油)



ワゴン車(**軽油**)

◆地下燃料タンク



① **供給頻度を高める**

(例 週1回 → 週4回)

② 燃料供給事業者の**複数化**

③ 地下燃料タンク**容量の拡張**

◆非常電源

軽油対応の非常用発電機を配備

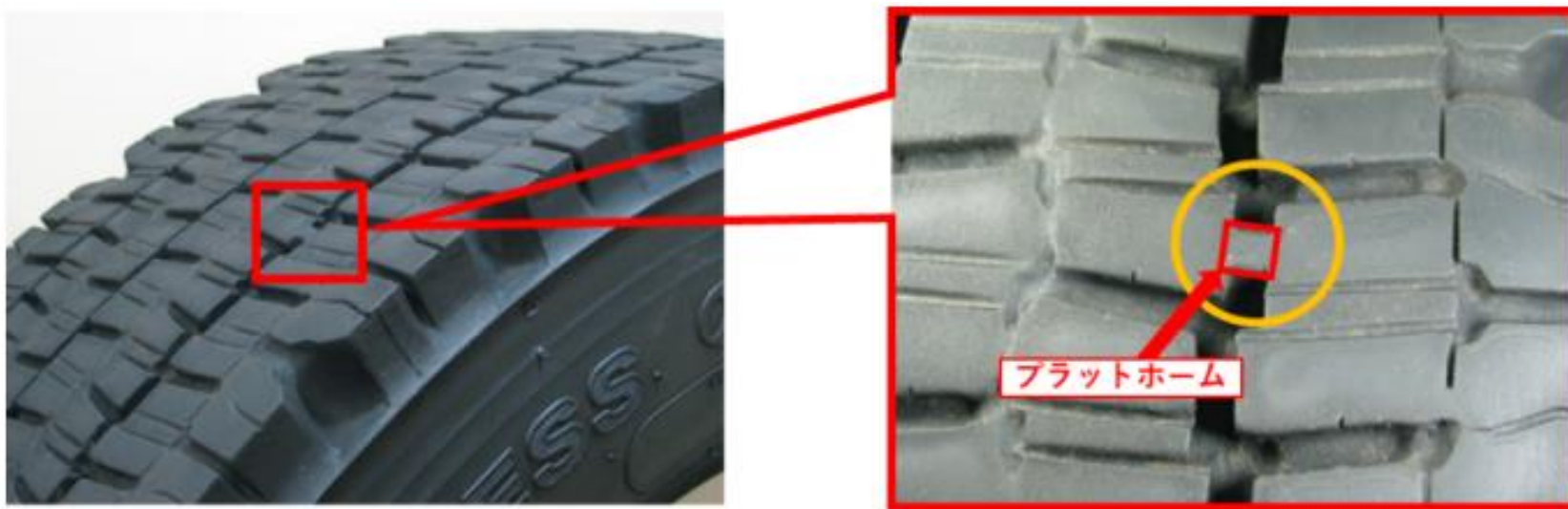
常に使える状態に維持！



【参考】冬用タイヤについて

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

- ①整備管理者は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度※よりもすり減っていないことを確認しなければなりません。
- ②運行管理者は、雪道を走行する自動車について、点呼の際に上記事項が確認されていることを確認しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

タイムライン

⑤タイムライン（防災行動計画）

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」「誰が」「どのように」「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画になります。



留意すべき点

- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能
- ②例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い、積雪量予報を踏まえた計画運休、広域迂回経路による運行、輸送スケジュールの変更を実施 等
- ③タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能（例：早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要

【参考】航空事業者における機材退避タイムライン

中日本航空株式会社の機材退避タイムライン(防災行動計画)の例示

「いつ」

「どのように」「何をするか」

「誰が」

時期(時間経過)	行動	担当部署
台風接近予定の7～10日前	台風情報の収集(予想進路、大きさの把握)	運航管理部
	台風対策の必要性の判断	同上
台風接近予定の5～7日前	業務部長 を委員長とする「 台風対策委員会 」を開催し、今後の対策を決定	台風対策委員会
	台風が接近している運航所等からの情報収集	運航関係部門
	台風の接近情報を元に運航スケジュールの調整	業務部
	運航機材等の避難場所の確保及びその折衝を実施	同上
	台風対策を記載した「台風対策一覧表」を作成し、社内外に周知	同上
	機体を移送する運航乗務員を確保	運航部
台風接近予定の3～5日前	台風の影響を受ける運航所等から、避難先の運航所等へ機材の移送を開始	同上
台風接近予定の2～5日前	避難先の運航所等の格納庫等で機材を格納	
台風の通過後	台風の通過後に「 台風対策委員会 」により、平時の体制に戻す判断を決定	台風対策委員会
	「 台風対策委員会 」の決定後、避難先に格納していた機体を元の運航所へ移動	同上

【参考】鉄道利用者等への情報提供タイムライン

気象状況 (気象庁における 予報・気象情報の 状況を含む。)	計画運休開 始時刻から 概ねの時間	掲載内容例	行動
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通る可能性があるとの予報を発表	(例)48時間前	計画運休の可能性を情報提供 例) 台風第○号の接近に伴い、… ○日(○)の○時頃から列車の運転を取り止める可能性があります。最新の気象情報と列車運行状況にご注意いただきますようお願い申し上げます	ウェブサイト、SNS、駅頭掲示等で多言語で情報提供(注) ↓
台風の進路予報円(暴風域)が当該路線沿線を通る可能性が高いとの予報を発表	(例)24時間前	○月○日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新) 例) 台風第○号の接近に伴い、… ○月○日(○)の○時以降順次列車の運転を取り止める予定です。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。 次回のお知らせは、○時頃を予定しています。	適切なタイミングで報道機関、都道府県等へ情報提供 ↓
当該路線沿線に大雨・強風等の注意報発令			市区町村へ情報提供
当該路線沿線に大雨・暴風等の警報発令			
当該路線沿線を台風が通過	計画運休実施	当日の運転計画(計画運休)の詳細な情報提供(随時更新) 例) 台風第○号の接近に伴い、… ○月○日(○)の○時頃から順次列車の運転を取り止め、概ね○時までには全ての列車の運転を取り止めます。なお、台風の進路等によって計画が変わる場合がございます。… 次回のお知らせは、○時頃を予定しています。	(注) 適宜情報を抜粋し、多言語により情報提供を行う。
当該路線沿線を台風が通過した後	(例)24時間後	明日以降の運転再開見込みについての情報提供(随時更新) 例) … 台風通過後、風雨が落ち着いた段階で、線路等の安全点検を係員が実施します。その結果、… 倒木・土砂流出入等を確認した場合には、朝の通勤時間帯において、列車の運転が困難となる見込みです…。 次回のお知らせは、○時頃を予定しています。	

安全最優先の運行計画（トラック事業者）

自動車モード（トラック）＜ラニイ福井貨物株式会社＞

概要

2018年2月、国道8号線（福井県・石川県）で発生した大規模滞留事案（最大車両：約1,500台、期間：2日と17時間）を契機に、**安全を最優先した運行計画の策定等**を実施

取組内容

大雪警報等が発表され、気象による影響が見込まれる際には、**対策本部**（本部長：経営トップ、各部署の長）を立ち上げ、国土交通省物流・自動車局の「**異常気象時における措置の目安**」を参考に、**事前に荷主と打合せ**を行い、輸配送の中止・広域迂回等を運行前に十分検討し、**安全最優先の運行計画**を策定・実施

気象情報は、報道、HP等で入手しており、令和3年度からは、福井県で構築している国道・県道の除雪情報をリアルタイムで提供する「**みち情報ネットふくい**」も活用。

- ①冬用タイヤは、毎年11月に**新品購入**し、12月初旬には**全車交換完了**、雪シーズン後も交換せず、履き潰すサイクル。**チェーン**については**全車携帯**。チェーンの装着方法について全ト協のビデオを活用して教育を実施
- ②冬用タイヤは燃費が悪い傾向があるため、エコドライブ活動（ゆっくり発信、ゆっくり停止）を実施し、燃費は他社と比較しても遜色のないレベルを確保

取組の効果

輸配送の中止、ルート変更及び運行時間の変更等、**安全最優先の運行計画を決定することが可能**に！



【滞留に巻き込まれた様子】



【チェーン交換教習の様子】

(9) 関係者との連携

(9) 関係者との連携

運輸事業者は、関係者（以下の①、②、③）との

連携関係を構築することが防災力を高める上で重要



① 地方自治体との連携

大規模な自然災害が発生した場合、運輸事業者の経営資源（要員や機材等）だけでは救助活動等に対応できない場合も想定されるため、地方自治体や国と被災情報を共有し、被災者の避難、救助、救護に向けた活動が円滑かつ迅速にできるよう、**地方自治体との間で連携関係（災害協定の締結等）を構築**しておくことが重要

② 国の行政機関との連携

緊急時の警察、消防、海上保安庁への救助要請、国土交通省の地方行政機関である地方整備局、地方気象台、地方運輸局、地方航空局は、TEC-FORCEの派遣等による被災地支援することが可能。事業者からも、**防災訓練等の機会も活用**して、**国の関係機関に気軽にアプローチ**して頂き、**緊密な連携関係を醸成していくこと**が望まれる

③ 他の運輸事業者との連携

被災時の迅速な代替輸送を行うためには、**予め他の事業者との間で代替輸送に係る取り決め**を行っておくと、速やかに代替輸送を立ち上げることが可能。地域コミュニティにおける共助の観点からは、**同じ地域に所在する事業者間で防災の協力関係を構築しておくこと**も期待

関係者との連携による救助 (鉄道事業者)

鉄道モード＜東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社＞

概要

2018年1月

強い冬型の気圧配置の影響により、日本海側を中心に大雪に見舞われた。

当日18時56分 信越線の当該列車は走行中に東光寺踏切の安全確認のため一旦停止、再度起動しようとしたが雪を抱えて起動不可。

20時46分 除雪を行い、運転再開。

21時01分 土江踏切で安全確認のため一旦停止した際、降雪が酷くなり運転不可能

翌日10時26分 機械等による除雪を行い運転再開

◆乗客数：約430名、

◆停車時間：約15時間

取組内容

- ◆ 大雪に対する予測と利用者への情報提供
- ◆ 駅間停車した場合の乗客の救助体制の脆弱性 等

取組の効果

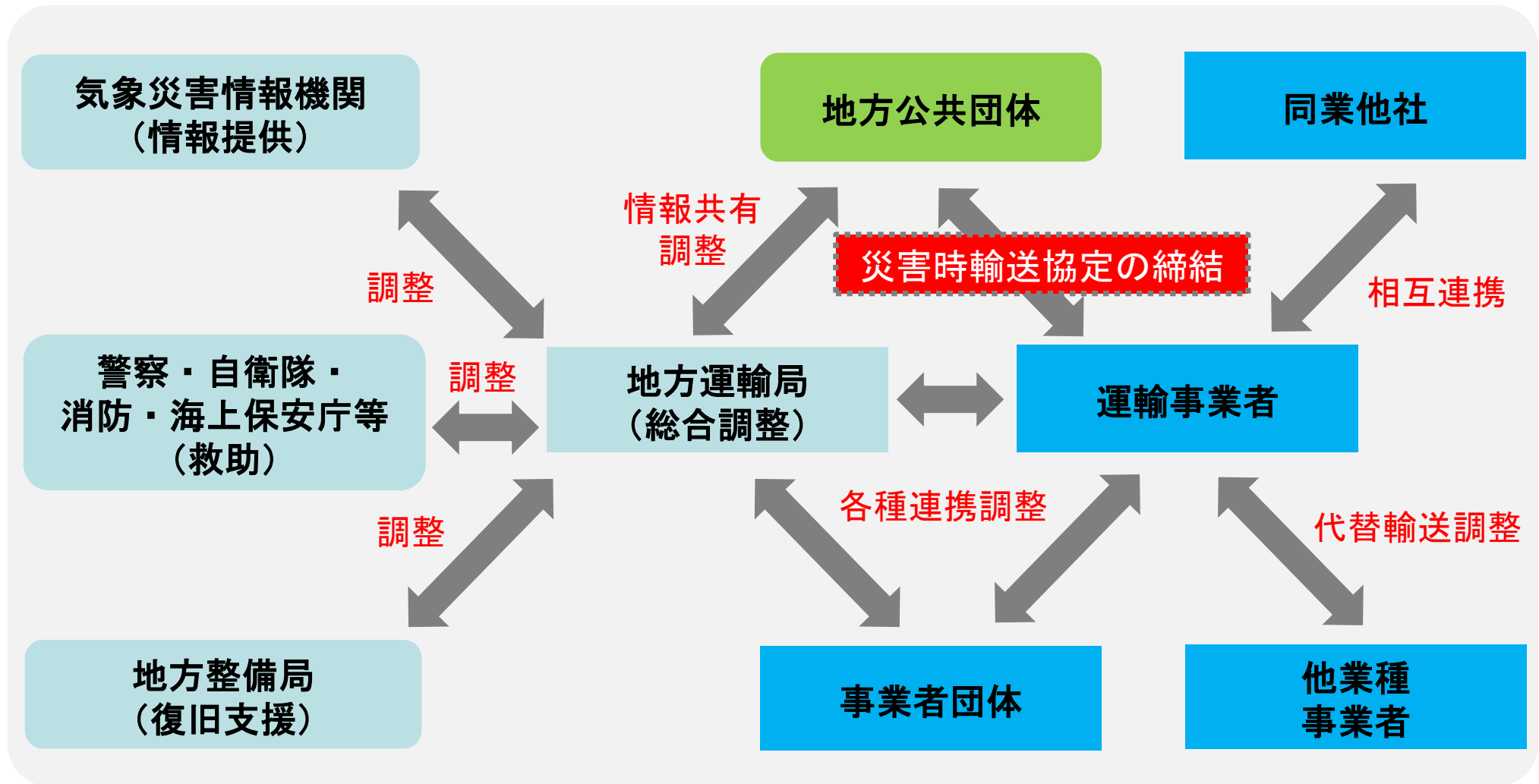
- ◆ 気象情報の他、雪況監視カメラによる積雪情報の把握
- ◆ 主要駅、列車乗務員への確認、列車巡回強化による線区積雪情報の把握
- ◆ 上記情報をもとに早期の運行可否判断（運行中止）、除雪体制確立の実施
- ◆ 自治体や警察、消防等への協力要請、バス・タクシーとの連携による乗客救済対策
- ◆ 除雪作業の進捗状況、運転再開見込み等をHP、SNS等を活用したタイムリーな利用者への情報提供 等



【列車が停車している状況】

「顔の見える関係」の構築

大規模な自然災害が発生した場合に備え、国、地方公共団体、運輸事業者との連携のトライアングルを構築し、日頃から「顔の見える関係作り」や「災害協定」を締結しておくことで、何処に連絡すれば、どのような対応を行ってくれるか判断できます。



✎ 解説 「顔の見える関係」の具体的なイメージとしては、異動等により担当者の交代があっても、公用（社用）携帯番号を交換でき、困った時に相談が出来るレベルを想定

TEC-FORCEの派遣

国土交通省緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE（テックフォース）」は、以下の単位であらかじめ組織され、自然災害により重大な人的・物的被害が生じる又はそのおそれがある場合に、被災現場や被災地域の自治体に派遣され、**被害の拡大防止や早期復旧等を目的**に活動します。

- ・ 地方整備局（北海道開発局）
- ・ 気象庁（JETT）
- ・ 地方運輸局
- ・ 地方航空局
- ・ 国土交通本省



滞留車両乗員への食料等の提供
（令和4年12月17日からの大雪）



除雪用機械による除雪作業
（令和4年12月17日からの大雪）

運輸事業者に密接に関連がある[地方運輸局TEC-FORCE](#)は、以下の班により構成され、被災自治体等の支援を行います。

- ・ リエゾン班

被災地域の地方公共団体等に派遣され、被災状況の情報収集、支援ニーズの把握、助言及び関係機関との情報共有等を実施します。

- ・ 輸送支援班

緊急・代替輸送に関する情報収集、支援ニーズの把握、調整等を実施します。

- ・ 被害状況調査班

踏査等により、被災状況を調査します。

【参考】運輸事業者等に対する九州運輸局の支援について

①緊急物資輸送に関する調整

- ◆関係事業者との連絡・調整を行います。
- ◆営業倉庫の被災状況等を確認し、支援物資の保管等が利用可能な「民間物資拠点のリスト」を提供します。
- ◆物流専門家派遣のサポートを行います。

<対応事例>

◎令和2年7月豪雨

熊本県、大分県、福岡県へ近隣の利用可能な「民間物資拠点のリスト」を提供。

②輸送力の確保

- ◆緊急物資輸送や災害対応人員等の輸送のために関係法令の弾力的な運用を行います。

<対応事例>

◎令和2年7月豪雨

避難者や支援要員の輸送等を行う貸切バスの営業区域について法令の弾力的な運用を実施。

◎令和元年5月鹿児島県屋久島豪雨

屋久島への自衛隊員派遣のために船舶の定員を臨時増加。



③代替輸送の確保・調整

- ◆鉄道等が被災した際の公共交通機関の代替輸送等について、交通事業者や関係団体との連絡・調整を行います。

<対応事例>

◎令和2年7月豪雨

鉄道事業者を訪問し、代替輸送に関する調整を実施。

⑤復旧・復興に関する支援

(鉄道施設の復旧支援)

- ◆被災した鉄道の早期復旧に向け、事業者及び関係機関と連携し技術的支援を行います。

<対応事例>

◎令和2年7月豪雨

被災状況を確認するとともに、代替輸送や今後の復旧事業における支援ニーズの意見交換を実施

(観光・宿泊施設の復旧関係)

- ◆復旧のための補助制度、面的復興に関するサポート等を行います。

④情報発信

- ◆被災自治体や観光関係者との連絡調整を行います。
- ◆風評被害払拭のための情報発信を行います。

<対応事例>

◎令和2年7月豪雨

取組の実現に適したアドバイザーを派遣。

◆【参考】行政手続きの弾力的な運用

被災自動車にかかる自動車重量税の還付など、弾力的な運用を行います。

リエゾンの派遣に、ご理解とご協力をお願いします！

➤ リエゾンへの情報提供をお願いします。（被害状況、公共交通機関の被災による滞留者等に関する情報、被災者の避難情報 等）

公共交通機関の運行（航）状況や被害状況等の情報提供を災害対策本部へ行うとともに、物資や人員等の輸送にかかる要望等を九州運輸局内で共有し、必要に応じて交通・観光関係団体等との連絡・調整を行います。

【直近の派遣実績】

・【直近の派遣実績】

- 令和5年6月 令和5年6月29日から大雨
- 令和6年8月 宮崎県日向灘を震源とする地震
- 令和6年8月 台風10号
- 令和7年7月 トカラ列島を震源とする地震
- 令和7年8月 8月6日から大雨

- ：大分県、佐賀県、福岡県 【各県庁へ派遣 延べ5人】
- ：宮崎県 【県庁へ派遣 延べ3人】
- ：宮崎県、鹿児島県、大分県 【各県庁へ派遣 延べ6人】
- ：鹿児島県 【県庁へ派遣 延べ1人】
- ：熊本県、鹿児島県 【各県庁へ派遣 延べ2人】

本日のまとめ

1. 経営トップの責務

①大規模災害時は経営トップの判断が必要

- ・ 降雪・積雪の予測はある程度可能 一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断
- ・ 関係機関との経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

②中長期計画と投資

2. 防災の基本方針

①防災の基本方針は、経営トップが決裁

②優先順位 ① 人命最優先(避難・救助・救護の原則) → ② 事業継続

③防災の基本方針の対象者 → すべての社員・職員にとって重要

3. リスク評価

①降雪・積雪の状況・予報、過去の積雪状況等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、事業への影響度を想定

②今生じている被害には、最新の気象予報・警報、道路交通情報道路、路線等サイト設置カメラ等から情報を収集し、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要

4. 事前の「備え」

①リスク評価に応じた備えは広範囲だが、日常の事業活動に防災の視点を追加

②上記3. の結果を踏まえ、雪シーズン前に、「事前の備え」を行い、降雪・積雪情報の入手先を確認

③予測可能な雪害等に対してはタイムラインを策定し、対応を実施

④運輸事業者と地方自治体との間で連携関係（災害協定の締結等）を構築し、迅速な対応を確保

1. 頻発化、激甚化する自然災害
 - ✓雪害の発生と被害状況
 - ✓被災経験から得られた課題と対応
2. 運輸防災マネジメントのポイント
 - ✓経営トップの責務
 - ✓安全方針と防災の基本方針
 - ✓リスク評価
 - ✓事前の備え
 - ✓関係者との連携
3. その他のポイント
 - ✓他事例からの学び
 - ✓参考情報

他事例からの学び

■他事例からの学び

自然災害対応の取組は、自然災害が実際に発生しない限り、その成果が見えにくいのも事実です。このため、実際の自然災害に対応した同業他社、他モードの事業者の取組とその成果と教訓、その後の改善の取組状況を学び、「他山の石」として、自社の取組に反映させることが効果的と考えられます。

【参考】大臣官房運輸安全監理官室は、以下のWEB サイトで取組事例を公開しています。

【国交省 取組事例】 https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_torikumi.html

現在、自然災害への対応に関する取組事例を収集中、今後も追加予定です。



参考となるWeb情報等

■大雪・暴風雪に関する最新の防災気象情報（気象庁国土交通省）

大雪・暴風雪に関する最新の防災気象情報に関するポータルサイトの活用により、早め早めの対応が可能となります。



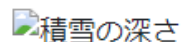
大雪・暴風雪に関する最新の防災気象情報

気象情報を活かして大雪や暴風雪に対して早め早めの行動をとっていただけるように本ページを開設しています。

各地の雪の状況

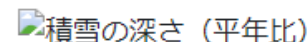
- [今後の雪（解析積雪深・解析降雪量、降雪短時間予報）](#)
- [アメダス（積雪深）](#)
- [最新の気象データ（雪の状況）](#)

積雪の深さ



積雪の深さ

積雪の深さ（平年比）



積雪の深さ（平年比）

- [積雪情報リンク](#)（管区气象台のほか、国土交通省や地方自治体等の機関が作成している積雪情報へのリンク集）

気象庁 大雪・暴風雪 防災気象情報

検索



参考となるWeb情報等

■川の防災情報（国土交通省）

雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。原則、国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）を対象とし、目的に応じて必要な情報を探すことができます。

The screenshot displays the '川の防災情報' (River Disaster Information) website interface. It features a top navigation bar with '全国の状況' (National Status) and '気象・土砂災害' (Weather/Landslide Disasters). The main content area is divided into several panels:

- ダム放流通知** (Dam Discharge Notification): Lists dams like 岩尾内ダム, 大雪ダム, 札内川ダム, 定山溪ダム, 十勝ダム, and 美利河ダム with their respective discharge status.
- レーダ雨量 (XRAIN)** (Radar Rainfall): A map of Japan showing radar rainfall data.
- 気象警報・注意報、土砂災害警戒情報** (Weather Warnings, Heavy Rain Warnings, and Landslide Disaster Precaution Information): A map of Japan showing various weather and disaster warnings.
- 河川カメラ** (River Camera): A video feed showing a river scene.
- 川の水位情報** (River Water Level Information): A map of Japan showing water level data.
- 漏水の危険性が高まっている河川** (Rivers with Increasing Risk of Leakage): A map of Japan showing rivers with high leakage risk.
- 強い降雨が観測されている雨量観測所** (Rainfall Observation Stations with Strong Rainfall): A map of Japan showing rainfall observation stations.
- 洪水予報、水位到達情報** (Flood Forecast, Water Level Arrival Information): A map of Japan showing flood forecasts and water level arrival information.
- 洪水キキクル (危険度分布)** (Flood Kikikuru (Danger Level Distribution)): A map of Japan showing flood danger levels.
- 土砂キキクル (危険度分布)** (Landslide Kikikuru (Danger Level Distribution)): A map of Japan showing landslide danger levels.
- 水害リスクライン** (Water Disaster Risk Line): A map of Japan showing water disaster risk lines.
- 避難情報** (Evacuation Information): A map of Japan showing evacuation information.

At the bottom, there are two search buttons: '川の防災情報' (River Disaster Information) and '川防 English' (River Disaster Information English), both with a '検索' (Search) button. A QR code is also present.

※「気象警報・注意報、土砂災害警戒情報」「洪水キキクル（危険度分布）」「土砂キキクル（危険度分布）」は気象庁ウェブサイトへリンクしています。
※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。
※「Lアラート」は、市町村等が発令した避難指示などの災害関連情報を、一般財団法人マルチメディア振興センターが収集、メディア等に対し一斉に配信する災害情報共有システムです。
※掲載の情報は、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値がそのまま表示されている可能性があります。
他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

参考となるWeb情報等

■防災ポータル/ Disaster Prevention Portal（国土交通省）

国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等を入手できるよう、防災ポータルを公開しています。

〈災害時、見てほしい情報〉

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害状況

リアルタイム情報や速報等により、災害発生後、いち早く被害の状況を見ることができます。

気象状況

台風などの気象情報のほか、国土交通省等による雨量や河川の水位などを見ることができます。

逃げるための情報

避難所等の防災施設を検索できます。

交通・物流情報

交通規制等の道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流会社の配送状況を見ることができます。

被災者支援情報

避難所や防災センターの基礎知識、行政の防災情報、防災施設を検索できる防災マップ、多言語生活情報などを見ることができます。

被災者支援情報

避難所や防災センターの基礎知識、行政の防災情報、防災施設を検索できる防災マップ、多言語生活情報などを見ることができます。

ライフライン情報

最新のライフライン状況（電気・水道・ガス・通信）を見ることができます。

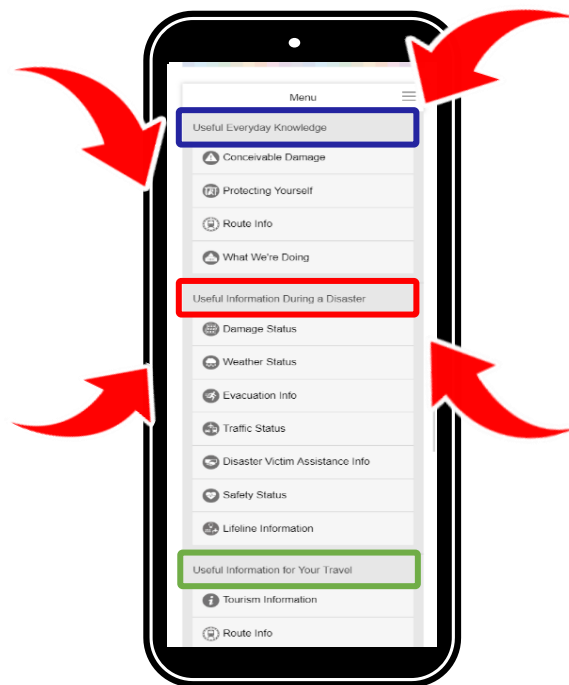
安否情報

災害用伝言サービスや安否情報検索サービスから、知人の安否情報を見ることができます。

地域の情報

地方整備局・地方運輸局・都道府県・Xによる地域の情報を見ることができます。

関係機関の情報提供ツールが
一元化



被害想定

起こりうる自然災害について、想定される被害状況やハザードマップ等を見ることができます。

身の守り方

災害の基礎知識や、災害時に身を守るための知識を見ることができます。

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます。

私たちの取り組み

国土交通省等が取り組む災害対策などの情報を見ることができます。

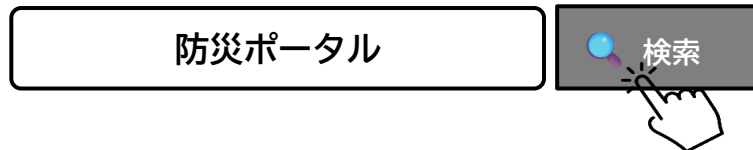
路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます。

観光情報

観光情報や無料Wi-Fi、宿泊施設等の情報を見ることができます。

〈旅のお役立ち情報〉



参考となるWeb情報等

○訪日外客等への災害情報提供

日本政府観光局（JNTO）等にて、自然災害発生時等に役立つ各種情報提供が行われています。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」(050-3816-2787)

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(X) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Safaty Tips」

日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、噴火速報、避難情報、熱中症情報、Jアラート等をプッシュ型で通知できる他、対応フローチャートやコミュニケーションカード等、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を掲載しているもので、観光庁が監修しています。対応言語は15言語（英語・中国語（簡体字/繁体字）・韓国語・日本語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語・タイ語・インドネシア語・タガログ語・ネパール語・クメール語・ビルマ語・モンゴル語）です。



iPhone



Android

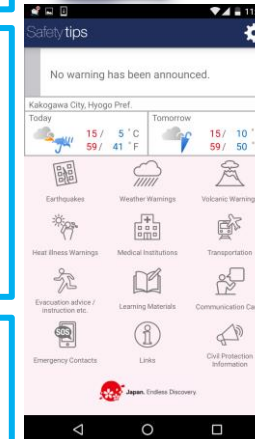
○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等を提供。

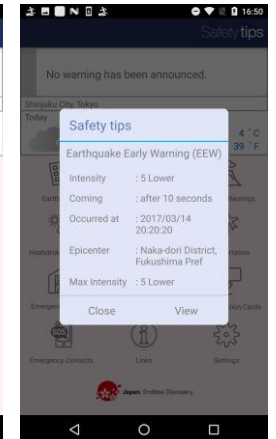
※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



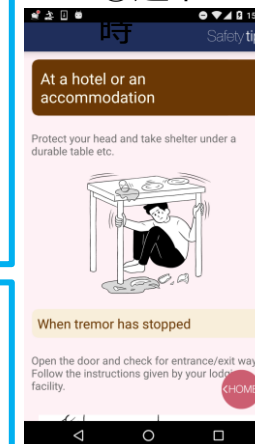
※Safety Tips Appにおける地震発生時のプッシュ通知



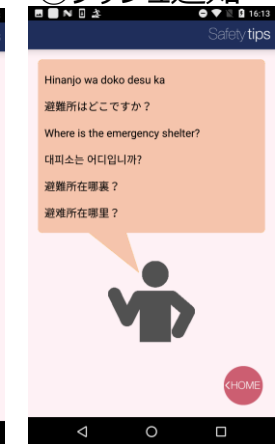
①通常



②プッシュ通知



③取るべき行動



コミュニケーションカード



※詳しくはコチラ➡ https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

ご清聴ありがとうございました。